

2025 年度シラバス
薬学部 6 年次科目

2025 年 4 月 1 日 現在

災害薬学 Pharmacist's roles in Disasters		授業担当教員		阿部 学・磯邊 浩和・非常勤講師		
		補助担当教員				
		区分		必修		
		年次・学期		6年次 前期	単位数	1単位
薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野			Cyber-Campus		
	B, D, F			講義資料・学生プロダクト・評価表		

【授業概要】

将来必ず来る大災害に備え、薬剤師として被災地で他の医療チームと協力して活動できるようになるために、法的規制、被災者の健康サポート、避難所の運営および衛生管理、トリアージのための知識・技能・態度を習得する。さらに、慢性疾患の被災地・避難所におけるフォローアップについて討議し、継続的薬学管理のポイントを習得する。

【実務経験】

（阿部）病院に12年間、薬局に約3年間勤務した経験を持つ。実務経験をもとに薬剤師が行う災害に対する備えや、対応を中心に講義を行う。
（磯邊）感染制御専門薬剤師、ICDの立場で、災害時における感染対策、消毒方法について指導する。

【到達目標】

1）災害時に活動する医療救護班について、その名称と役割について概説できる。2）発災時に適応される各種法律や法的規制の位置づけおよびその内容について概説できる。
3）災害時にみられる代表的な疾患と病態について説明できる。4）避難所での問題点を挙挙できる。5）災害時に需要が見込まれる医薬品を挙挙できる。6）発災直後から数日までの間に起こりうる患者の心理的影響について説明できる。7）発災直後から数日までの間に必要な医薬品を挙挙できる。8）外部救護が見込まれる頃に必要な医薬品と予想される疾患を述べる事ができる。9）避難所における感染症対策について、述べる事ができる。10）避難所における慢性疾患への療養支援について、述べる事ができる。11）避難所における消毒薬の調製方法や消毒方法について、具体例を挙げることができる。12）被災者の栄養状態、生活環境問題、救急対応などについて、述べる事ができる。13）患者の訴えに応じた一般用医薬品を提案・説明できる。14）処方薬の代替薬の提案と変更理由を医師へ提案できる。15）災害時の医薬品管理（流通・保管・使用法）について概説できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1	災害薬学概論・基礎	近年多発する様々な自然災害への薬剤師の仕事に関し、発災時・避難時・復旧期・復興期における薬剤師の関わり、写真で事例提示しつつ、我が国の自然災害と災害対応の現状と課題について講義する。災害時の医療体制と制度に関し、防災基本計画、災害対策基本法、災害救助法等について、実災害時の運用事例について概説する。	講義	予習：自然災害について、調べておく（60分） 復習：受講後、配布資料などを読む（60分）	RB00010101-04・RB00040101-03・RB00040401-02・RE00030201-03・RF00040201-03	NB00020101-08・NB00020201-11,31A-32A・NB00020301-03・NB00040101-03・ND02020203・NF00050401-03	磯邊
2	災害薬学概論・患者のストレスと薬物治療	被災者のストレスを理解し、種々の病態への影響と薬物療法の関係について概説する。	講義	予習：種々の病態について復習しておく（60分） 復習：受講後、配布資料などを読む（60分）	RC00070201-02・RC00070301-02・RC00070401・RC00070801-03・RC00071401・RF00040201-03	NC07010401-02・NC07010601・NC07010701-03・NC07010801・NC07010901-02・NC07011001・NC07011201・NF00050401-03	磯邊 非常勤講師
3	災害時における被災地・避難所における感染対策（1）	避難所における被災者の生活衛生管理や避難所対策について演習する。	講義・演習・SGD	予習：避難所における被災者の生活衛生管理や避難所対策について調査する。（90分） 復習：避難所における被災者の生活衛生管理や避難所対策について、問題点を整理する。（90分）	RF00040103・RF00040201,03	NF00050401-03	磯邊
4	災害時における被災地・避難所における感染対策（2）	避難所における感染症対策、水害による土壌汚染の消毒方法とその問題点、家屋の消毒方法と消毒薬の種類、栄養状態、生活環境問題、救急対応などについて解説する。	講義・演習・SGD	予習：避難所における感染症対策、水害による土壌汚染の消毒方法とその問題点などについて予習する（90分） 復習：避難所における感染症対策、水害による土壌汚染の消毒方法とその問題点、家屋の消毒方法と消毒薬の種類、栄養状態、生活環境問題、救急対応などについて復習する（90分）	RC00060301-04・RF00030401-04・RF00040201-03	NC08030101・NC08030201-06・NC08030301,31A・NC08030401-02・NC08030501-02,31A・NC08030601-03,31A-32A・NF00050401-03	磯邊
5	被災地・避難所におけるOTC医薬品の活用	避難所で需要が高い一般用医薬品と医療用医薬品を解説する。	講義	予習：避難所で需要が高い一般用医薬品と医療用医薬品を調べておく。（60分） 復習：避難所で需要が高い一般用医薬品と医療用医薬品を復習する。（60分）	RB00030101-05	NB00040101-06,31A・NB00040201-05,31A-32A,51D-54D	阿部
6	災害時における継続的薬学管理①	被災地や避難所における薬物治療上の問題点を解説する。	講義	予習：被災地や避難所における薬物治療上の問題点を各自考えておく。（60分） 復習：被災地や避難所における薬物治療上の問題点を整理する。（60分）	RB00030101-05・RB00030201-02・RB00030301-03・RB00040101-03・RB00040401-02・RD00022001-03	NB00020201-11,31A-32A・NB00020301-03・NB00030101-07,31A・NB00030201-04,31A-36A・NB00040101-06,31A・NB00040201-05,31A-32A,51D-54D・NE02090001-08	阿部
7	災害時における継続的薬学管理②	被災地や避難所における薬物治療上の問題点を解説する。	講義	予習：被災地や避難所における薬物治療上の問題点を各自考えておく。（60分） 復習：被災地や避難所における薬物治療上の問題点を整理する。（60分）		NB00020201-11,31A-32A・NB00020301-03・NB00030101-07,31A・NB00030201-04,31A-36A・NB00040101-06,31A・NB00040201-05,31A-32A,51D-54D・NE02090001-08	阿部
8	災害時における糖尿病療養生活支援	災害時における糖尿病治療における継続的薬学管理（フォローアップ）を行う際の供給体制、適正使用上の問題点とその対策のための医療連携など）について解説する。	講義	予習：これまでの授業で習ったことから、インスリン依存性の高い患者の薬物療法（特にDKA、Sick day時の対応）について整理しておく。（60分） 復習：時間（日数）とともに変化する災害時の生活環境や患者心理と適正な薬物療法を行う際のポイントについて整理しておく。（60分）	RB00030101-05・RB00040101-03・RD00010101-03・RD00010201-02・RD00020601-04・RD00030501-05・RD00050201-02・RD00060101-03・RF00010101-11	NB00020201,06・NB00040105・NE01030001-02・NE02050101・NE02050301・NE03020101・NE05010402・NF00020101・NF00020302・NF00020409	阿部 非常勤講師

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	災害薬学	名倉弘哲、山内英雄	南山堂
参考書	DMAT 標準テキスト	日本集団災害医学会	へるす出版
その他	配布資料		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						100%		
備考						複数のレポートで評価します		

【課題に対するフィードバック方法】

模範例についての解説を行う。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
阿部 学	月～金 16:00～19:00（事前に連絡をください）	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	abe@nupals.ac.jp
磯邊 浩和	月～金 11～17時（事前に連絡をお願いします）	臨床薬学教育研究センター（C棟204）	isobe@nupals.ac.jp

【その他】

評価の合計60%で合格とする。

新潟地域でよく見られる疾病 Endemic Diseases in Niigata	授業担当教員		酒巻 利行・神田 循吉・非常勤講師	
	補助担当教員			
	区分		必修	
	年次・学期		6年次 前期	単位数 1.5単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野		Cyber-Campus	
	A, B, D1, E2		講義資料、講義音声、確認試験問題と解答例、レポート総評	

【授業概要】

地域密着型の医療知識の基礎知識を身につけるために、新潟で高頻度に起こる疾病を新潟特有の気候や人々の食文化・産業・気質原因と関連させて学習し、現代に至るまでに取られてきた対処法や薬剤師との関わりを学ぶ。

【実務経験】

神田：病院薬剤師として7年間の勤務経験を有する。実務経験を新潟地域に特色のある医療情勢について指導を行う

【到達目標】

- 1. 食生活・生活状況・環境によって引き起こされる疾病を列挙できる。
- 2. その原因・成因・対策・予防について考察し、理解できる。
- 3. 薬剤師がどのように関わってきたか、今後どのように関わっていくか説明できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1～2	保健統計・保健医療	新潟地域で発生率・死亡率の高い疾病、地域で求められる医療	講義・演習	復習：講義資料、演習課題を復習する（180分）		ND01010101・ND01010201-03・ND01020301-03	酒巻
3～4	地域医療	新潟地域の特性を活かした保険薬局の在り方や将来の保険薬局・薬剤師に求められること	講義・演習	復習：講義資料、演習課題を復習する（180分）		NA00010101-07・NA00010201-08・NA00020101-04・NB00020101-08・NB00030101-07,31A・NB00040101-06,31A・NB00040201-05,31A-32A,51D-54D	酒巻 神田 外部講師
5～6	認知症	高齢者医療、地域医療において認知症ケアに携わる薬剤師の役割や活動	講義・演習	復習：講義資料、演習課題を復習する（180分）		NA00010101-07・NA00020101-04・NA00020201-03・NA00020301-04・NA00030101-09,31A-32A,51D-55D・NA00030201-02	酒巻 神田 外部講師
7～8	うつ病	うつ病患者に対する自殺予防ゲートキーパーとしての薬剤師の役割や活動	講義・演習・試験	復習：講義資料、演習課題を復習する（180分）		NA00010201-03,06-07・NA00030105,07-08・NA00040001-03・ND01010101・ND01010201・ND01010301	酒巻 神田 外部講師
9～10	悪性腫瘍	大腸がんや胃がんなどの化学療法に携わる薬剤師の役割や業務	講義・演習	復習：講義資料、演習課題を復習する（180分）		NE02070701-03・NE02070801,03-04,08,13・NE02070901-02	酒巻 神田 外部講師
11～12	災害医療	災害派遣医療におけるDMAT活動や救急医療における薬剤師の役割や活動	講義・演習	復習：講義資料、演習課題を復習する（180分）		NA00010101-07・NA00010201-03・NA00040001-03・ND01010101・ND01010201・ND01010301	酒巻 神田 外部講師

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	治療薬マニュアル		医学書院
その他	資料配布		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					20%	80%		
備考					3回目の授業内で実施する確認試験			

【課題に対するフィードバック方法】

演習の解説を授業中に随時行うとともに、Cyber-CAMPUSを通して授業終了後に確認試験解答例の提示及びレポートについての総評を行う。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
酒巻 利行	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F棟503a）	sakamaki@nupals.ac.jp
神田 循吉	月～金 9:00～17:00	臨床薬物治療学研究室（CB110）	kanda@nupals.ac.jp

【その他】

課題に対する評価が60%以上で合格とする。

最新医療を学ぶ Current Medical Technologies	授業担当教員		神田 循吉	
	補助担当教員		宮下 しずか	
	区分		必修	
	年次・学期		4～6年次 通年	単位数 0.5単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野		Cyber-Campus	
	A		講義資料	

【授業概要】
医療現場での薬の適正使用や副作用の管理など「薬の専門家」としての役割に加え、医師や看護師などと協働する「チーム医療」の一員としての薬剤師の職能を活かすために、様々な分野における最新の医療事情を習得する。そのために、高度薬剤師教育研究センターが開催する薬剤師生涯教育講座ならびに専門的なグループ研修をはじめとした学修プログラムを活用する。

【実務経験】
(神田) 病院薬剤師としての7年間の勤務経験をもとに、薬剤師としての生涯学習・自己研鑽の重要性を指導する。
(宮下) 保険薬局・病院薬剤師としての8年間の勤務経験をもとに、薬剤師としての生涯研鑽の重要性を指導する。

【到達目標】
薬剤師の責務である生涯学習や自己研鑽の重要性を認識し、その意義について説明できる。生涯にわたって継続的に学習するために必要な情報を収集できる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1	2024年度新潟薬科大学薬学部主催の薬剤師生涯教育講座の受講	「高度薬剤師教育研究センター主催の薬剤師生涯教育講座、グループ研修」の内容に従う	●動画配信型授業	予習：2023年度のプログラムを見て、出席する講座の疾患について教科書を読む（60分） 復習：出席した講座の疾患について教科書で復習する（120分）		NA00050301-02	神田 宮下
2	2024年度新潟薬科大学薬学部主催の薬剤師生涯教育講座の受講	「高度薬剤師教育研究センター主催の薬剤師生涯教育講座、グループ研修」の内容に従う	●動画配信型授業	予習：2023年度のプログラムを見て、出席する講座の疾患について教科書を読む（60分） 復習：出席した講座の疾患について教科書で復習する（120分）		NA00050301-02	神田 宮下
3	2024年度新潟薬科大学薬学部主催の薬剤師生涯教育講座の受講	「高度薬剤師教育研究センター主催の薬剤師生涯教育講座、グループ研修」の内容に従う	●動画配信型授業	予習：2023年度のプログラムを見て、出席する講座の疾患について教科書を読む（60分） 復習：出席した講座の疾患について教科書で復習する（120分）		NA00050301-02	神田 宮下
4	2024年度新潟薬科大学薬学部主催の薬剤師生涯教育講座の受講	「高度薬剤師教育研究センター主催の薬剤師生涯教育講座、グループ研修」の内容に従う	●動画配信型授業	予習：2023年度のプログラムを見て、出席する講座の疾患について教科書を読む（60分） 復習：出席した講座の疾患について教科書で復習する（120分）		NA00050301-02	神田 宮下
5	2024年度新潟薬科大学薬学部主催の薬剤師生涯教育講座の受講	「高度薬剤師教育研究センター主催の薬剤師生涯教育講座、グループ研修」の内容に従う	●動画配信型授業	予習：2023年度のプログラムを見て、出席する講座の疾患について教科書を読む（60分） 復習：出席した講座の疾患について教科書で復習する（120分）		NA00050301-02	神田 宮下

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	わかりやすい疾患と処方薬の解説	「わかりやすい疾患と処方薬の解説」編集委員会	アークメディア

【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						100%		
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
レポートにコメントをつけて返却

【連絡先】			
氏名	オフィシアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
神田 循吉	月～金 9:00～17:00	臨床薬物治療学研究室（CB110）	kanda@nupals.ac.jp
宮下 しずか	月～金 13:00～18:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C206）	miyashita@nupals.ac.jp

【その他】
決定したプログラムの詳細は年度初めに通知する。
(本学ホームページ＜社会貢献＜薬剤師生涯教育講座に掲載) 合計点が60%以上で合格とする。

神経系疾患、脳血管障害の薬物治療 Diseases and Prescription for Pharmacotherapy I	授業担当教員	神田 循吉		
	補助担当教員			
	区分	必修		
	年次・学期	6年次 前期	単位数	1単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野		Cyber-Campus	
	C,E,F		講義資料	

【授業概要】
疾患の病態ならびにその薬物療法を理解し、適正な薬物療法が実施できることを目的として、臨床実習で習得した最新の臨床的知識をもとに、その疾患の原因、病態、症状、予後、臨床検査、治療方針、薬物治療の考え方・処方意図、服薬説明などを総合的・体系的に理解する。

【実務経験】
（神田）病院薬剤師としての7年間の勤務経験をもとに、神経系疾患・脳血管障害の各病態に応じた最適な薬物療法について指導する。

【到達目標】
1) 病態に応じた適切な薬物治療法を提案できる。
2) 他の医療者と共に選択された薬物治療法を実施、管理できる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号 (2024～)	到達目標番号 (～2023)	担当 教員
1～3	脳血管障害の薬物治療	脳内出血、脳梗塞、くも膜下出血などのケーススタディー1	講義・SGD・PBL	予習：脳神経系機能の知識の確認と神経疾患の知識の確認（90分） 復習：上記の理解のための復習（90分）		NE02010101-03・NE02010201-02・NE02010308,13-14・NE02010401・NE02110101	神田
4～6	神経疾患の薬物治療1	てんかん、頭痛（片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛、薬物乱用頭痛など）のケーススタディー	講義・SGD・PBL	予習：同上（90分） 復習：同上（90分）		NE02010101-03・NE02010201-02・NE02010307,11,13-14・NE02010401・NE02110101	神田
7～8	神経疾患の薬物治療2	パーキンソン病、認知症（アルツハイマー型、レビー小体型、前頭側頭型など）のケーススタディ	講義・SGD・PBL	予習：同上（90分） 復習：同上（90分）		NE02010101-03・NE02010201-02・NE02010309-10,13-14・NE02010401・NE02110101	神田

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	わかりやすい疾患と処方薬の解説、ケーススタディー編（購入済み）	編集企画委員会 編集	アークメディア
参考書	治療薬マニュアル（購入済み）	北原 他	医学書院

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					50%	50%		
備考					講義最終回に実施する試験	作成する課題レポートの評価		

【課題に対するフィードバック方法】
課題作成時に随時、指摘する。
最終確認テストの内容は正答を公開し解説を加える。

連絡先	氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
	神田 循吉	月～金 9:00～17:00	臨床薬物治療学研究室（CB110）	kanda@nupals.ac.jp

【その他】
課題レポート、講義最終回の試験を総合して60%以上を合格とする。

Pharmacotherapy of Infectious and Disease Control	授業担当教員		磯邊 浩和	
	補助担当教員		元井 優太郎	
	区分		必修	
	年次・学期		6年次 後期	単位数 1単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野		Cyber-Campus	
	C, E, F		講義資料	

【授業概要】
実務を経験した上で、患者個々に対する適切な薬物治療を行うために、病原微生物に使用する医薬品の剤形の選択や薬理作用、その動態に関する諸問題を解決する知識、態度を醸成する。

【実務経験】
(磯邊) 感染制御専門薬剤師・抗菌化学療法認定薬剤師の立場で、感染制御ならびに感染症診療に携わった経験から指導する。
(元井) 薬物動態パラメーターを用いた具体的な投与設計を指導する。

【到達目標】
代表的な感染症の薬物治療に対し、多角的な視点で解析を行うことができる。感染症での薬物療法の理解、適切な薬物療法の提案、管理ができる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1	感染症診療に必要な微生物学	感染にかかわる微生物についての講義・演習	講義・演習	予習：事前に授業内容について調査しておく。(90分) 復習：授業内容の要点を整理しておく。(90分)	RC00060301-04・RD00021501-05・RF00030401-04	NC08020105・NC08020201・NC08030101・NC08030201-02,04-06・NC08030301,31A・NC08030401-02・NC08030501-02・NC08030603,31A・NC08040101-02・NC08040201-09・NE01020207	磯邊
2	感染症診療に必要な化学療法学、感染制御学	抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬、感染対策についての講義・演習	講義・演習	予習：事前に授業内容について調査しておく。(90分) 復習：授業内容の要点を整理しておく。(90分)	RC00060301-04・RD00021501,04-05・RF00030401-04	NC08030501-02・NC08030751D-52D・NC08040101-02・NC08040351D・NF00030633A	磯邊
3~4	感染症診療に必要な薬物動態学	抗菌薬・抗真菌薬の薬物動態に関する講義・演習	講義・演習	予習：薬物血中濃度モニタリング（TDM）の対象となる抗菌薬・抗真菌薬の有効・中毒濃度範囲（90分） 復習：薬物動態パラメータと速度論解析（3年次後期）にて習得した計算手法（90分）	RD00040101-03・RD00040201-04	NE04010501-05・NE04020101-03,05-06・NE04020201-04,31A-33A,35A	元井
5~6	感染症に対する薬物治療	感染症治療についての講義・演習	講義・演習	予習：事前に授業内容について調査しておく。(90分) 復習：授業内容の要点を整理しておく。(90分)	RF00030401-04	NE01020101・NE01030001-02・NE02070101-02・NE02070301-10・NE02070401-06・NE02070501-02・NF00030102,04・NF00030301-02,07-09,14	磯邊
7~8	感染症への対応	薬物治療や感染対策など、感染症全般についての講義・演習	講義・演習・試験	予習：事前に授業内容について調査しておく。(90分) 復習：授業内容の要点を整理しておく。(90分)	RF00030401-04	NE01020207・NF00020604-06,12-14・NF00030301-02,04,07-09・NF00030401-02,06-10	磯邊

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	感染症学 Essential Knowledge and Skills	編著：駒野 淳、大井 一弥、安 武夫	南山堂
参考書	コンパス生物薬剤学 改訂第3版	編集：岩城 正宏、尾上 誠良	南江堂
参考書	ケースアナリシス薬物速度論	編著：久保田 隆廣	京都廣川書店
その他	配布プリント		

【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					70%	20%	10%	
備考							授業に対する心構え、出席状況	

【課題に対するフィードバック方法】
講義時間内に演習の解説を行う。

【連絡先】			
氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
磯邊 浩和	月～金 11～17時（事前に連絡をお願いします）	臨床薬学教育研究センター（C棟204）	isobe@nupals.ac.jp
元井 優太郎	平日 9:00～17:00（事前にメール等で連絡をください）	生物薬剤学研究室（F棟 103d）	motoi@nupals.ac.jp

【その他】
合計点の 60% 以上で合格とする。

循環器系疾患の薬物治療 Diseases and Prescription for Pharmacotherapy IV	授業担当教員	森山 雅人・非常勤講師		
	補助担当教員			
	区分	必修		
	年次・学期	6年次 前期	単位数	1単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野		Cyber-Campus	
	C,E,F		講義資料	

【授業概要】

臨床での疾患とその病態、およびその薬物療法を理解し、適正な薬物療法が実施できることを目的として、基本的な疾患の病態、臨床検査値などの知識を修得し、また薬物を理解するべく化学構造、物性、合成法や分析法などを修得する。そして薬物の製剤学特徴、および体内動態などを理解し、適正な薬物療法ができるための知識などを修得する。循環器系の代表的な疾患（虚血性心疾患、不整脈、心不全など）の病態・異常について説明でき、薬物療法への応用例も列挙し、説明できるための知識を修得する。循環器疾患に関連するこれまでの研究成果を調査し評価できる知識・技能を修得する。さらに、循環器疾患に関連するこれまでの症例や発表論文を読解し、課題達成のために解決すべき問題点を抽出できるように修得する。

【実務経験】

（森山・伊藤）臨床医として25年以上の病院勤務経験があり、現場に必要な知識技能を講義実習で習得できるよう指導している。

【到達目標】

各種疾患の病態生理と治療について理解する。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1	ケーススタディ①	症例提示、討議	討論・課題・グループワーク	予習：講義内容の振り返りを行って知識を整理しておく。（90分） 復習：まとめの内容の確認、知識の整理（90分）	RD00020801-04・RF00010101-11・RF00020101-08	NE01020101・NE01020201-08・NE01030001-02・NE01040001,03・NE02030101-06,51D	森山
2	ケーススタディ②	討議、発表準備	討論・課題・グループワーク	予習：講義内容の振り返りを行って知識を整理しておく（90分） 復習：まとめの内容の確認、理解不足であった点の確認（90分）	RD00020801-04・RF00010101-11・RF00020101-08	NE01020101・NE01020201-08・NE01030001-02・NE01040001,03・NE02030101-06,51D	森山
3	循環器疾患①	心臓の生理機能の解説ならびに高血圧症、心不全の病態と主な治療薬	講義	予習：教科書の該当部分と、過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：病態、検査、治療について整理（90分）	RD00020801-04	NE02030102,04-06,51D・NE02030401・NF00030101-07,31A	森山 伊藤
4	循環器疾患②	虚血性心疾患の病態と主な治療薬	講義	予習：教科書の該当部分と、過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：病態、検査、治療について整理（90分）	RD00020801-04	NE02030103,06・NE02110101-03・NF00030101-07,31A	森山 伊藤
5	循環器疾患③	不整脈の病態と主な治療薬	講義	予習：教科書の該当部分と、過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：病態、検査、治療について整理（90分）	RD00020801-04	NE02030101・NE02110101-03・NF00030101-07,31A	森山 伊藤
6	ケーススタディ③	課題発表、討論	SGD・発表・討論	予習：心不全の病態や主な治療薬について確認しておく（90分） 復習：講義内容、プリントを見直す（90分）	RD00020801-04・RF00010101-11・RF00020101-08	NE02030101-06,51D・NE02030401・NF00030101-07,31A・NF00030201-06・NF00030301-14,31A	森山
7	ケーススタディ④	課題発表、討論	SGD・発表・討論	予習：虚血性心疾患の病態や主な治療薬について確認しておく（90分） 復習：講義内容、プリントを見直しておく（90分）	RD00020801-04・RF00010101-11・RF00020101-08	NE02030101-06,51D・NE02030401・NF00030101-07,31A・NF00030201-06・NF00030301-14,31A	森山
8	循環器疾患まとめ	循環器疾患と薬物療法のまとめ 演習問題	講義・演習	予習：これまでの講義内容を再度確認（90分） 復習：循環器疾患と薬物療法について整理（90分）	RB00010101-04・RD00020801-04	NE01020101・NE01020201-08・NE02030101-06,51D・NE02030401	森山

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	わかりやすい疾患と処方薬の解説 病態・薬物治療編	編集企画委員会	アークメディア
参考書	わかりやすい疾患と処方薬の解説 ケーススタディ編（購入済み）	編集企画委員会	アークメディア
参考書	病気がみえるvol.2 循環器	医療情報科学研究所	メディックメディア

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					20%	40%	40%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

演習問題の回答は当日提示する。症例問題は発表とレポートで評価する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
森山 雅人	月～木 13:00～17:00（講義・実習・出張日を除く）＊要事前連絡	病態生理学研究室（F棟F404a）	masato@nupals.ac.jp

【その他】

外部講師への質問は森山を通じて行う。総合得点60%以上を合格とする。

内分泌系疾患、腎疾患の薬物治療 Pharmacotherapeutics (Metabolic, Endocrine and Urological diseases)	授業担当教員	川村 暢幸		
	補助担当教員			
	区分	必修		
	年次・学期	6年次 前期	単位数	1単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野		Cyber-Campus	
	E2(5), E2(3)③ (R4新コアカリ D-2-6、D-2-13)		講義資料	

【授業概要】

内分泌系疾患・泌尿器（生殖器を除く）の分野について、臨床実習等で習得した知識をもとに、疾患の成因・病態・症状・臨床検査値などから総合的に判断し、治療方針・薬物療法・服薬指導内容などを立案できるようになることを目的とする。

【実務経験】

（川村）調剤薬局非常勤薬剤師として14年の勤務経験を有する。現場で多く見られる症例・事例について解説する。

【到達目標】

- (1)疾患に関する基本的な知識を身につける。
- (2)症状・臨床検査値などから疾患および状況を判断できる。
- (3)症状・病態に応じた治療方法・薬物療法を提案できる。
- (4)予後の予測し対応方法をあらかじめ挙げることができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1～4	代謝系・内分泌系疾患	代謝系・内分泌系疾患（糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、甲状腺・副腎機能異常症など）	演習・課題	予習：代謝系・内分泌系に関連する疾患の特徴と治療方針（薬剤等）の確認（60分） 復習：上記内容の復習（120分）	RD00020601-04	NE02050101-03・NE02050201-05・NE02050301	川村
5～8	腎疾患	泌尿器系疾患（腎不全、ネフローゼ症候群、過活動膀胱など）	演習・課題	予習：泌尿器系に関連する疾患の特徴と治療方針（薬剤等）の確認（60分） 復習：上記内容の復習（120分）	RD00021301-04	NE02030301-05・NE02030401	川村

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	わかりやすい疾患と処方薬の解説、ケーススタディー編（3年次に購入済み）	編集企画委員会 編集	アークメディア
教科書	わかりやすい疾患と処方薬の解説【病態・薬物治療編】（3年次に購入済み）	編集企画委員会 編集	アークメディア
参考書	治療薬マニュアル（3年次に購入済み）	北原 他	医学書院
参考書	病気がみえる③、⑧		Medic Media
参考書	薬がみえる		Medic Media

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	80%					20%		
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

定期試験及びレポートに対するフィードバックはをPortal-NUPALS・Microsoft365等を通じて行う。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
川村 暢幸	平日 10:00～16:00 Teams chatで事前連絡が確実	薬学教育センター F棟B101b	kawamura@nupals.ac.jp

【その他】

上記成績評価方法により総合的に判断し、60%以上の得点を以て単位を認定する。

精神神経系疾患の薬物治療 Diseases and Prescription for Pharmacotherapy II	授業担当教員		神田 循吉	
	補助担当教員			
	区分		必修	
	年次・学期		6年次 前期	単位数 1単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野		Cyber-Campus	
	C,E,F		講義資料	

【授業概要】
疾患の病態ならびにその薬物療法を理解し、適正な薬物療法が実施できることを目的として、臨床実習で習得した最新の臨床的知識をもとに代表的な疾患のケーススタディーを通じて、その疾患の原因、病態、症状、予後、臨床検査、治療方針、薬物治療の考え方・処方意図、服薬説明などを総合的・体系的に理解する。

【実務経験】
(神田) 病院薬剤師としての7年間の勤務経験を基に、精神神経系疾患の各病態に応じた最適な薬物治療法について指導する。

【到達目標】
1) 病態に応じた適切な薬物治療法を提案できる。
2) 他の医療者と共に選択された薬物治療法を実施、管理できる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号 (2024～)	到達目標番号 (～2023)	担当 教員
1～3	精神神経疾患1	統合失調症のケーススタディ	講義・ SGD・PBL	予習：脳機能の知識の確認とその関連疾患の知識の確認（90分） 復習：上記の理解のための復習（90分）		NE02010101-03・NE02010201-02・NE02010301,04,13・NE02010401・NE02110101	神田
4～6	精神神経疾患2	うつ病、睡眠障害のケーススタディ	講義・ SGD・PBL	予習：同上（90分） 復習：同上（90分）		NE02010101-03・NE02010201-02・NE02010301,05,13-14・NE02010401・NE02110101	神田
7～8	精神神経疾患3	双極性障害、不安症のケーススタディ	講義・ SGD・PBL	予習：同上（90分） 復習：同上（90分）		NE02010101-03・NE02010201-02・NE02010301,05-06,13・NE02010401・NE02110101	神田

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	わかりやすい疾患と処方薬の解説、ケーススタディー編（購入済み）	編集企画委員会 編集	アークメディア
参考書	治療薬マニュアル（購入済み）	北原 他	医学書院

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					50%	50%		
備考					講義最終回に実施する試験	作成する課題レポートを評価		

【課題に対するフィードバック方法】
課題作成時に、適宜、指摘する。
最終確認テストは正答を公開し解説を加える。

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
神田 循吉	月～金 9:00～17:00	臨床薬物治療学研究室（CB110）	kanda@nupals.ac.jp

【その他】
課題レポート、講義最終回の試験を総合して60%以上を合格とする。

悪性腫瘍の薬物治療 Diseases and Prescription for Pharmacotherapy V	授業担当教員		永野 大輔・森山 雅人	
	補助担当教員			
	区分		必修	
	年次・学期		6年次 後期	単位数 1単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野		Cyber-Campus	
	E		講義プリント	

【授業概要】

臨床での疾患とその病態、およびその薬物療法を理解し、適正な薬物療法が実施できることを目的として、基本的な疾患の病態、臨床検査値などの知識を修得し、また薬物を理解するべく化学構造、物性、合成法や分析法などを修得する。そして薬物の製剤学特徴、および体内動態などを理解し、適正な薬物療法ができるための知識などを修得する。血液系の代表的な疾患（白血病、骨髄腫、出血性疾患など）の病態・関連遺伝子異常について説明でき、疾患関連遺伝子情報の薬物療法への応用例も列挙し、説明できるための知識を修得する。

血液系疾患に関連するこれまでの研究成果を調査し評価できる知識・技能を修得する。さらに、血液系疾患に関連するこれまでの症例や発表論文を読解し、課題達成のために解決すべき問題点を抽出できるように修得する。

【実務経験】

（森山）臨床医として25年以上の病院勤務経験があり、現場で必要な知識技能を講義実習で習得できるよう指導している。

（永野）実務経験を基に、がん化学療法について講義を行なう。

【到達目標】

各種疾患の病態生理と薬物療法について理解する。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1	悪性腫瘍概論①	造血器腫瘍 肺がん 乳がん	講義	予習：教科書の該当部分と、過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：プリントを参考に病態、検査、治療について整理（90分）		NE02030205・NE02070701-03・NE02070801-02,05-06・NE02071001・NE02080101-03・NE02080301-04	森山
2	悪性腫瘍概論②	消化器がん 泌尿器科がん 婦人科がん 頭頸部がん	講義	予習：教科書の該当部分と、過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：プリントを参考に病態、検査、治療について整理（90分）		NE02070701-03・NE02070801-04,09-10,13・NE02071001・NE02080101-03	森山
3	悪性腫瘍の薬物療法①	造血器腫瘍 肺がん	講義	予習：教科書の該当部分と、過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：病態、検査、治療について整理（90分）		NE02070701-03・NE02070801-04,08,11-12・NE02071001・NE02080101-03	永野
4	悪性腫瘍の薬物療法②	消化器がん 泌尿器系がん	講義	予習：抗がん剤の開発の流れを確認する（90分） 復習：講義の内容を確認する（90分）		NE02070701-03・NE02070801-13・NE02070901-02・NE02071001	永野
5	悪性腫瘍の薬物療法③	乳がん 婦人科がん	講義	予習：前回の講義内容を確認する（90分） 復習：講義内容を確認する（90分）		NE02070701-03・NE02070801-13・NE02070901-02・NE02071001	永野
6	悪性腫瘍の薬物療法④	支持療法	講義	予習：あらかじめ提示された症例の病態治療につき検討しておく。（90分） 復習：症例について、与えられた課題を検討する（90分）		NE02070701-03・NE02070801-13・NE02070901-02・NE02071001	永野
7	ケーススタディ①	症例提示、討議	SGD・課題	予習：教科書の該当部分と、過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：病態、検査、治療について整理（90分）		NE02070701-03・NE02070803-04・NE02070901-02	永野
8	ケーススタディ②	症例提示、討議	SGD・課題	予習：これまでの講義内容を再度確認（90分） 復習：悪性腫瘍と薬物療法について整理（90分）		NE02070701-03・NE02070801-13・NE02070901-02・NE02071001・NE02110101-03	永野

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	図解腫瘍薬学	川西正祐ほか	南山堂
教科書	わかりやすい疾患と処方薬の解説 病態・薬物治療編（購入済み）	編集企画委員会	アークメディア
参考書	わかりやすい疾患と処方薬の解説 ケーススタディ編（購入済み）	編集企画委員会	アークメディア
参考書	がんがみえる	医療情報科学研究所	メディックメディア

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	60%					20%	20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

試験の回答は当日提示する。症例問題は発表とレポートで評価する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
永野 大輔	月-金10:00-17:00(メールかチャットで事前に連絡をください。)	臨床薬学教育研究センター(C棟C204号室)	nagano@nupals.ac.jp
森山 雅人	月～木 13:00～17:00（講義・実習・出張日を除く）＊要事前連絡	病態生理学研究室（F棟F404a）	masato@nupals.ac.jp

【その他】

履修前準備事項：総合得点60%以上を合格とする。

緩和医療における薬物治療 Pharmacotherapy for Palliative Care	授業担当教員		永野 大輔・非常勤講師	
	補助担当教員		竹野 孝慶	
	区分		必修	
	年次・学期		6年次 前期	単位数 1単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野		Cyber-Campus	
	C, E, F		講義資料など	

【授業概要】
実務を経験した上で、患者個々に対する適切な薬物治療を行うために、疼痛緩和や褥瘡治療に使用する医薬品の剤形の選択や薬理作用、その動態に関する諸問題を解決する知識、態度を醸成する。

【実務経験】
（永野）実務経験を基に臨床現場で必要となる知識の講義を行う。
（竹野）約10年間の病院薬剤師としての経験を活かし、緩和医療における薬剤師の取り組みについて指導・助言を行う。

【到達目標】
代表的な緩和医療を理解し、標準的な診断法、治療法、および緩和ケアについて説明できる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号 (2024～)	到達目標番号 (～2023)	担当教員
1～2	緩和医療における薬物療法	緩和ケア、疼痛コントロールについて全般的講義	講義・演習	予習：事前に授業内容について調査しておく。(90分) 復習：授業内容の要点を整理しておく。(90分)	RF00010101-11	NE02110101-03	永野
3～4	緩和医療のにおける薬物療法	オピオイド製剤の各論について	講義・演習	予習：事前に授業内容について調査しておく。(90分) 復習：授業内容の要点を整理しておく。(90分)	RF00010101-11	NE02110101-03	永野
5～6	緩和医療における補助療法	緩和医療における補助療法の役割と意図についての講義	講義	予習：事前に授業内容について調査しておく。(90分) 復習：授業内容の要点を整理しておく。(90分)	RF00010101-11	NE02020103・NE02060303	永野
7～8	緩和医療における薬剤師の取り組み	緩和医療に携わっている薬剤師の職能を理解する	講義・演習	予習：事前に授業内容について調査しておく。(90分) 復習：授業内容の要点を整理しておく。(90分)	RF00010101-11	NF00040101-09	永野 竹野 非常勤講師

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	配布プリント		

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
定期試験の解説を配布する。

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
永野 大輔	月-金10:00-17:00(メールかチャットで事前に連絡をください。)	臨床薬学教育研究センター(C棟C204号室)	nagano@nupals.ac.jp
竹野 孝慶	月～金 12:00～17:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	takeno@nupals.ac.jp

【その他】
合計点の60%以上で合格とする。

診断と治療の先端医療 Advanced Care in Diagnosis and Treatment		授業担当教員		森山 雅人・川村 暢幸	
		補助担当教員			
		区分		必修	
		年次・学期		6年次 前期	単位数 1.5単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野			Cyber-Campus	
	E, F, J				

【授業概要】

疾患の治療は病名によって均一なわけではなく、疾患の特性や病態の機序を患者個人ごとに検討して行われる、診断や治療に関する先端医療を学び、事例に対する討議を行うことで、様々な患者に適切な対応ができる能力を身に付ける。

【実務経験】

（森山）臨床医として25年以上の病院勤務経験があり、現場に必要な知識技能を講義実習で習得できるよう指導している。

【到達目標】

①各疾患の特性や病態機序を理解し、先進医療について理解する。②病因に基づいて選択された治療の根拠、およびその作用機序について説明できる。③患者個人に選択されるべき治療法を医学的根拠に基づいて提案できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1	先端医療①	生活習慣病	講義	予習：過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：病態、検査、治療について整理（90分）		NE01020101・NE01030001-02・NE02030104・NE02050101-03	森山
2	先端医療②	血栓止血疾患 止血療法、抗凝固療法	講義	予習：過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：病態、検査、治療について整理（90分）		NE02030201,04-05	森山
3	先端医療③	自己免疫疾患 生物学的製剤	講義	予習：過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：病態、検査、治療について整理（90分）		NE02020208・NE02020301・NE02020401	森山
4	先端医療④	悪性腫瘍① 分子標的治療薬	講義	予習：過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：病態、検査、治療について整理（90分）		NE02070701-03・NE02070801-13・NE02071001・NE02080101-03	森山
5	先端医療⑤	悪性腫瘍② がん免疫療法	講義	予習：過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：病態、検査、治療について整理（90分）		NE02070701-03・NE02070801-13・NE02071001・NE02080101-03	森山
6	先端医療⑥	悪性腫瘍③ 細胞療法、がんゲノム、個別化治療	講義	予習：過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：病態、検査、治療について整理（90分）		NE02070701-03・NE02070801-13・NE02071001・NE02080101-03	森山
7	ケーススタディ①	症例提示、討議	討論・課題・グループワーク	予習：過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：課題症例と関連事項について知識を整理し、スライドを作成（90分）		NE02070701-03・NE02070801-13・NE02071001・NE02080101-03・NE02080201・NE02080301-04	森山 川村
8	ケーススタディ②	討議、発表準備	討論・課題・グループワーク	予習：過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：課題症例と関連事項について知識を整理し、スライドを作成（90分）		NE02070701-03・NE02070801-13・NE02071001・NE02080101-03・NE02080201・NE02080301-04	森山 川村
9	ケーススタディ③	討議、発表準備	討論・課題・グループワーク	予習：過去の関連講義の内容を確認（90分） 復習：課題症例と関連事項について知識を整理し、スライドを作成（90分）		NE02070701-03・NE02070801-13・NE02071001・NE02080101-03・NE02080201・NE02080301-04	森山 川村
10	ケーススタディ④	課題発表、討論	SGD・発表・討論	予習：作成した課題の内容を確認（90分） 復習：課題症例と関連事項について知識を整理し、レポートを作成（90分）		NE02070701-03・NE02070801-13・NE02071001・NE02080101-03・NE02080201・NE02080301-04	森山 川村
11	ケーススタディ⑤	課題発表、討論	SGD・発表・討論	予習：作成した課題の内容を確認（90分） 復習：課題症例と関連事項について知識を整理し、レポートを作成（90分）		NE02070701-03・NE02070801-13・NE02071001・NE02080101-03・NE02080201・NE02080301-04	森山 川村
12	先端医療総括	診断と治療の先端医療のまとめ 演習問題	講義・演習	予習：これまでの講義内容を再度確認（90分） 復習：診断と治療の先端医療について整理（90分）		NE02020208・NE02020301・NE02020401・NE02030201-02,04-05・NE02050101-03・NE02050301・NE02070701-03・NE02070801-13・NE02071001・NE02080101-03・NE02080201・NE02080301-04・NE02110101-03	森山 川村

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	図解腫瘍薬学	川西正祐ほか	南山堂
参考書	コンパス薬物治療学	原明義・小山進	南江堂
参考書	わかりやすい疾患と処方薬の解説 病態・薬物治療編、ケーススタディ編（購入済み）	編集企画委員会	アークメディア

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					20%	40%	40%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

演習問題の回答は当日提示する。症例問題は発表とレポートで評価する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
森山 雅人	月～木 13:00～17:00（講義・実習・出張日を除く）＊要事前連絡	病態生理学研究室（F棟F404a）	masato@nupals.ac.jp
川村 暢幸	平日 10:00～16:00 Teams chatで事前連絡が確実	薬学教育センター F棟B101b	kawamura@nupals.ac.jp

【その他】

全体の評価点のうち60%以上を合格とする。

薬剤師と法律・制度 Pharmaceutical Laws	授業担当教員	非常勤講師		
	補助担当教員			
	区分	必修		
	年次・学期	6年次 前期	単位数	1単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野	Cyber-Campus
	B	演習問題

【授業概要】

【到達目標】

【授業計画】

【教科書・参考書】

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	80%				20%			
備考					小テスト			

【課題に対するフィードバック方法】

- ・ 演習実施時は、授業中に解答解説を行う
- ・ 定期試験の解答例は、解答例をCyber-NUPALSにアップロードする

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
----	---------	-----------	----------

【その他】

- ・ 2025年度はオンライン授業と対面授業の併用で授業を実施します。詳細な日程は別途連絡します。
- ・ 各自が所有する法規系の参考書があれば持参してください
- ・ 成績評価は合計60%以上を合格とします

呼吸器系・消化器系疾患の処方解析 Pharmacotherapeutics (Respiratory and Digestive diseases)		授業担当教員		川村 暢幸			
		補助担当教員					
		区分		必修			
		年次・学期		6年次 前期		単位数	1単位
薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野				Cyber-Campus		
	E2(4) (R4新コアカリ D-2-11、D-2-12)				講義資料		

【授業概要】
呼吸器・消化器の分野について、臨床実習等で習得した知識をもとに、疾患の成因・病態・症状・臨床検査値などから総合的に判断し、治療方針・薬物療法・服薬指導内容などを立案できるようになることを目的とする。

【実務経験】
(川村) 調剤薬局非常勤薬剤師として14年の勤務経験を有する。現場で見られる症例・事例について解説する。

【到達目標】
(1)疾患に関する基本的な知識を身につける。
(2)症状・臨床検査値などから疾患および状況を判断できる。
(3)症状・病態に応じた治療方法・薬物療法を提案できる。
(4)予後を予測し対応方法をあらかじめ挙げるができる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号 (2024～)	到達目標番号 (～2023)	担当教員
1～4	呼吸器系疾患	呼吸器系疾患（気管支喘息、肺炎、肺気腫など）	演習・課題	予習：呼吸器系に関連する疾患の特徴と治療方針（薬剤等）の確認（60分） 復習：上記内容の復習（120分）	RD00021201-04	NE02040101-04・NE02040301	川村
5～8	消化器系疾患	消化器系疾患（胃・十二指腸潰瘍、肝炎、膵炎、潰瘍性大腸炎など）	演習・課題	予習：消化器系に関連する疾患の特徴と治療方針（薬剤等）の確認（60分） 復習：上記内容の復習（120分）	RD00021101-04	NE02040201-09・NE02040301	川村

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	わかりやすい疾患と処方薬の解説、ケーススタディー編（3年次に購入済み）	編集企画委員会 編集	アークメディア
教科書	わかりやすい疾患と処方薬の解説【病態・薬物治療編】（3年次に購入済み）	編集企画委員会 編集	アークメディア
参考書	治療薬マニュアル（3年次に購入済み）	北原 他	医学書院
参考書	病気がみえる①、④		Medic Media
参考書	薬がみえる		Medic Media

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	80%					20%		
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
定期試験及びレポートに対するフィードバックはをPortal-NUPALS・Microsoft365等を通じて行う。

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
川村 暢幸	平日 10:00～16:00 Teams chatで事前連絡が確実	薬学教育センター F棟B101b	kawamura@nupals.ac.jp

【その他】
上記成績評価方法により総合的に判断し、60%以上の得点を以て単位を認定する。

免疫・アレルギー疾患、泌尿器系・生殖器系疾患の処方解析 Pharmacotherapeutics (Immune, Allergic, Bone and Reproductive system diseases)	授業担当教員		川村 暢幸	
	補助担当教員			
	区分		必修	
	年次・学期		6年次 後期	単位数 1単位
薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野			Cyber-Campus
	E2(2)、E2(3)③ (R4新コアカリ D-2-10、D-2-14、D-2-4)			講義資料

【授業概要】
免疫系・アレルギー関連・骨・生殖器系の分野について、臨床実習等で習得した知識をもとに、疾患の成因・病態・症状・臨床検査値などから総合的に判断し、治療方針・薬物療法・服薬指導内容などを立案できるようになることを目的とする。

【実務経験】
(川村) 調剤薬局非常勤薬剤師として14年の勤務経験を有する。現場で見られる症例・事例について解説する。

【到達目標】
(1)疾患に関する基本的な知識を身につける。
(2)症状・臨床検査値などから疾患および状況を判断できる。
(3)症状・病態に応じた治療方法・薬物療法を提案できる。
(4)予後を予測し対応方法をあらかじめ挙げることができる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1～4	免疫・アレルギー疾患	免疫・アレルギー疾患（炎症、アレルギー、アナフィラキシー、自己免疫性疾患など）	演習・課題	予習：免疫系に関連する疾患の特徴と治療方針（薬剤等）の確認（60分） 復習：上記内容の復習（120分）	RD00021001-04	NE02020101-02・NE02020201-09・NE02020401	川村
5～6	生殖器系疾患	生殖器系疾患（子宮内膜症など）	演習・課題	予習：生殖器に関連する疾患の特徴と治療方針（薬剤等）の確認（60分） 復習：上記内容の復習（120分）	RD00021401-06	NE02030302-03,06-08・NE02030401	川村
7～8	骨・運動器疾患	骨・運動器疾患（骨粗しょう症、関節リウマチなど）	演習・課題	予習：骨・運動器に関連する疾患の特徴と治療方針（薬剤等）の確認（60分） 復習：上記内容の復習（120分）	RD00020401-04	NE02020101-02・NE02020301-04	川村

【教科書・参考書】			
種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	わかりやすい疾患と処方薬の解説、ケーススタディー編（3年次に購入済み）	編集企画委員会 編集	アークメディア
教科書	わかりやすい疾患と処方薬の解説【病態・薬物治療編】（3年次に購入済み）	編集企画委員会 編集	アークメディア
参考書	治療薬マニュアル（3年次に購入済み）	北原 他	医学書院
参考書	病気がみえる⑥、⑨、⑪、⑬		Medic Media
参考書	薬がみえる		Medic Media

【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	80%					20%		
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
定期試験及びレポートに対するフィードバックはをPortal-NUPALS・Microsoft365等を通じて行う。

【連絡先】			
氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
川村 暢幸	平日 10:00～16:00 Teams chatで事前連絡が確実	薬学教育センター F棟B101b	kawamura@nupals.ac.jp

【その他】
上記成績評価方法により総合的に判断し、60%以上の得点を以て単位を認定する。

薬剤使用評価 Drug use evaluation	授業担当教員		坂爪 重明・永野 大輔	
	補助担当教員		佐藤 浩二・竹野 孝慶	
	区分		必修	
	年次・学期		6年次 前期	単位数 1単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野		Cyber-Campus	
	E3		講義資料	

【授業概要】

患者により良い医薬品を提供するために、添付文書・インタビューフォーム・二次資料などの情報を吟味して、同効薬の有効性・副作用・利便性・経済性を比較・評価し、同効薬の使い分けなどの医薬品適正使用に関する知識や技能を習得する。

【実務経験】

(坂爪) 病院薬剤師経験29年の実務経験をもとに臨床現場で必要となる医薬品評価（有効性・安全性・利便性・経済性）について指導する。
(永野) 病院。薬局での実務経験を基に臨床現場で必要となる医薬品評価について指導、助言を行う。
(竹野) 約10年間の病院薬剤師としての経験を活かし、薬剤の比較・評価・適切な使い分けについて指導・助言を行う。

【到達目標】

1）医薬品を使用したり取り扱う上で、必須の医薬品情報を列举できる。2）目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。3）医薬品情報の信頼性、科学的妥当性などを評価する際に必要な基本的項目を列举できる。4）臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。5）病院や薬局において医薬品を採用・選択する際に検討すべき項目を列举し、その意義を説明できる。6）医薬品情報にもとづいて、代表的な同種同効薬の有効性や安全性について比較・評価できる。7）医薬品情報にもとづいて、先発医薬品と後発医薬品の品質、安全性、経済性などについて、比較・評価できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1	授業ガイダンス（地域フォーミュラリー、（薬剤比較・使用評価・情報検索方法））	フォーミュラリーマネージメント、同効薬の有効性・副作用・利便性・経済性を比較・評価するための方法	講義	予習：地域フォーミュラリーについて調べる（90分） 復習：地域フォーミュラリーの講義の内容を整理し、理解を深める。同効薬の有効性・安全性・利便性・経済性を比較・評価するための方法について、理解を深める（90分）		NE03010101・NE03010301,03-04・NE03010701-03	坂爪 永野 竹野
2	使用評価1、2、3（「有効性・副作用、経済性、利便性」の情報収集および「有効性・副作用、経済性、利便性」の評価と使い分け）	添付文書、インタビューフォーム、二次資料などから同効薬の有効性・副作用・利便性・経済性の情報を収集し、比較する。	講義・演習	予習：添付文書、インタビューフォーム、二次資料などから同効薬の有効性・安全性・利便性・経済性の情報を収集する（90分） 復習：同効薬の有効性・安全性・利便性・経済性を比較・評価し、理解を深める（90分）		NE03010101・NE03010301,03-04・NE03010701-03	坂爪 永野 竹野
3	使用評価1、2、3の解説 使用評価4、5、6（「有効性・副作用、経済性、利便性」の情報収集）	使用評価1、2、3の評価と使い分けの解説 使用評価4、5、6について、添付文書、インタビューフォーム、二次資料などから同効薬の有効性・副作用・利便性・経済性の情報を収集し、比較する。	講義・PBL・課題	予習：添付文書、インタビューフォーム、二次資料などから同効薬の有効性・安全性・利便性・経済性の情報を収集する。（90分） 復習：同効薬の有効性・安全性・利便性・経済性を比較・評価し、理解を深める（90分）		NE03010101・NE03010301,03-04・NE03010701-03	坂爪 永野 竹野
4	使用評価4、5、6（「有効性・副作用、経済性、利便性」の評価と使い分け）	添付文書、インタビューフォーム、二次資料などから得た医薬品の有効性・安全性・経済性・利便性を評価し、同効薬の使い分けについてまとめる。	PBL・課題	予習：添付文書、インタビューフォーム、二次資料などから同効薬の有効性・安全性・利便性・経済性の情報を収集する。（90分） 復習：同効薬の有効性・安全性・利便性・経済性を比較・評価し、理解を深める（90分）		NE03010101・NE03010301,03-04・NE03010701-03	坂爪 永野 竹野
5	使用評価4、5、6の解説 使用評価7、8、9（「有効性・副作用、経済性、利便性」の情報収集）	使用評価4、5、6の評価と使い分けの解説 使用評価7、8、9について、添付文書、インタビューフォーム、二次資料などから同効薬の有効性・副作用・利便性・経済性の情報を収集し、比較する。	講義・PBL・課題	予習：添付文書、インタビューフォーム、二次資料などから同効薬の有効性・安全性・利便性・経済性の情報を収集する。（90分） 復習：同効薬の有効性・安全性・利便性・経済性を比較・評価し、理解を深める（90分）		NE03010101・NE03010301,03-04・NE03010701-03	坂爪 永野 竹野
6	使用評価7、8、9（「有効性・副作用、経済性、利便性」の評価と使い分け）	添付文書、インタビューフォーム、二次資料などから得た医薬品の有効性・安全性・経済性・利便性を評価し、同効薬の使い分けについてまとめる。	PBL・課題	予習：添付文書、インタビューフォーム、二次資料などから同効薬の有効性・安全性・利便性・経済性の情報を収集する。（90分） 復習：同効薬の有効性・安全性・利便性・経済性を比較・評価し、理解を深める（90分）		NE03010101・NE03010301,03-04・NE03010701-03	坂爪 永野 竹野
7	使用評価7、8、9の解説 使用評価の振り返り	使用評価7、8、9の評価と使い分けの解説	講義	予習：添付文書、インタビューフォーム、二次資料などから同効薬の有効性・安全性・利便性・経済性の情報を収集する。（90分） 復習：同効薬の有効性・安全性・利便性・経済性を比較・評価し、理解を深める。（90分）		NE03010101・NE03010301,03-04・NE03010701-03	坂爪 永野 竹野
8	臨床研究論文の内的妥当性と外的妥当性について 薬剤使用評価（まとめ）	臨床研究論文の内的妥当性と外的妥当性について 薬剤使用評価（まとめ）	講義・演習	予習：情報収集して吟味した内容を整理し、理解を深める（90分） 復習：臨床研究論文の内的妥当性と外的妥当性について、講義で学んだ内容を基に理解を深める（90分）		NE03010101・NE03010301-04,31A・NE03010401-04・NE03010701-03	坂爪 永野 佐藤 竹野

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	配布プリント		
参考書	治療薬マニュアル	高久史磨、矢崎義雄監修	医学書院

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	60%					40%		
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

プリントなどを用いて要点を解説する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
坂爪 重明	月～金 13:00～17:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟205）	sakazume@nupals.ac.jp
永野 大輔	月-金10:00-17:00(メールかチャットで事前に連絡をください。)	臨床薬学教育研究センター(C棟C204号室)	nagano@nupals.ac.jp
佐藤 浩二	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F棟503b）	ksato@nupals.ac.jp
竹野 孝慶	月～金 12:00～17:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	takeno@nupals.ac.jp

【その他】

- レポートの評価基準をcyber-Nupalsにアップロードする.
- 定期試験の解答を cyber NUPALSに掲示する

社会貢献活動II Community Activities II	授業担当教員	酒巻 利行・富永 佳子		
	補助担当教員	長谷川 拓也		
	区分	必修		
	年次・学期	5年次 前期～6年次 前期	単位数	0.5単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野		Cyber-Campus	
	A, B, F, J		授業関連資料	

【授業概要】

薬学の専門性を活かしながら地域医療連携と医薬品教育を組み合わせた社会貢献活動を行う。地域住民の健康維持・増進に貢献し、正しい医薬品の使い方やセルフメディケーションの重要性を伝える活動を通じて、実践力を身につける。

【到達目標】

1）地域医療における薬剤師の役割を理解し、説明できる。2）地域住民の健康ニーズを把握し、それに基づいた活動を企画・提案できる。3）健康相談会や服薬指導イベントを企画・運営できる。4）医薬品の正しい使い方やセルフメディケーションの重要性を分かりやすく伝えることができる。5）中高生や地域住民に向けた教育プログラムを企画・実施できる。6）啓発パンフレットや情報発信コンテンツを作成し、適切に発信できる。7）地域でのフィールドワークを通じて得た課題や成果を的確に分析し、まとめることができる。8）プレゼンテーションスキルを身につけ、成果を効果的に発表できる。9）社会貢献活動を通じて、コミュニケーション能力、企画力、実行力を総合的に発揮できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1～2	全体オリエンテーションと基礎知識の習得	授業の目的・到達目標の共有、活動内容と期待される成果についての説明、地域医療連携・医薬品教育の重要性の認識、地域の健康課題・医薬品に関する現状の把握	講義・演習	復習：授業内容の振り返り及び理解の深化（30分）		NA00010206-07・NB00020301-03・NB00040101-06,31A,51D・NB00040201-05,31A-32A,51D-54D	酒巻 富永 長谷川
3～8	プロジェクト企画立案と準備	地域住民の健康ニーズ調査、健康推進・医薬品教育イベントの企画、広報活動の計画・立案・実行、活動の事前準備	グループワーク・SGD・討論	予習：授業内容の整理・把握（30分） 復習：授業内容の振り返り及び理解の深化（30分）		NA00030108-09,55D・NA00040001,05・NA00050101,04・NF00040201-02,51D・NF00050201-02・NF00050301	酒巻 富永 長谷川
9～10	社会貢献活動の実践	健康推進・医薬品教育イベントの活動実践、フィードバックの収集・記録	実習・フィールドワーク・グループワーク	予習：活動内容の整理・把握（30分） 復習：活動行動を通じて気付いた事項の振り返り（30分）		NA00030151D-55D・NA00040005・NF00040201-02,51D・NF00050201-02,04,31A・NF00050301,04,09	酒巻 富永 長谷川
11～12	成果の整理・発表・振り返り	活動の成果・課題等のまとめ、プレゼン資料作成、プレゼンテーション、次年度への提案	SGD・発表・討論	予習：活動行動を通じて気付いた事項の整理（30分） 復習：授業全体を通した学びの振り返り（30分）		NA00050101,04・NA00050301・NA00050401・NJ00090101-03・NJ00090201-02・NJ00090301-05	酒巻 富永 長谷川

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	授業関連資料		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						20%	60%	20%
備考						最終報告書	プロジェクトへの参加態度、企画・実施力	成果発表

【課題に対するフィードバック方法】

企画・プロダクトについては随時フィードバックする。レポートについては授業終了後に総評を行う。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
酒巻 利行	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F棟503a）	sakamaki@nupals.ac.jp
富永 佳子	月～金、8:30～18:00（事前連絡が望ましい）	社会薬学研究室（F棟508）	y-tominaga@nupals.ac.jp
長谷川 拓也	月～金 18:00～19:00	薬効薬理学研究室（F棟203c）	t-hasegawa@nupals.ac.jp

【その他】

各評価項目の合計が60%以上で合格とする。

臨床実務実習 Clinical Rotation	授業担当教員	朝倉 俊成・齊藤 幹史・坂爪 重明・阿部 学・磯邊 浩和・永野 大輔		
	補助担当教員	川原 浩一・久保田 隆廣・小室 見彦・酒巻 利行・富永 佳子・瀧野 裕之・星名 賢之助・前田 武彦・森山 雅人・岩田 武男・神田 循吉・富塚 江利子・福原 正博・宮本 昌彦・山口 利男・佐藤 浩二・竹野 孝慶・宮下 しずか・元井 優太郎・長谷川 拓也・笹木 睦子・関川 由美		
	区分	必修		
	年次・学期	4年次 後期～6年次 前期	単位数	20単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野	Cyber-Campus		
	A, B, F			

【授業概要】
病院においては、病院薬剤師の業務と責任を理解し、病院内におけるチーム医療に参画できるようになるために、調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。また保険薬局においては、薬局の社会的役割と責任を理解し、地域医療に参画できるようになるために、保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供、健康相談、医療機関や地域との関わりについての基本的な知識、技能、態度を修得する。

【実務経験】
いずれも病院や薬局にて薬剤師として豊富な実務経験（５年以上）を有する臨床薬学教育研究センター教員が臨床施設担当となっている。

【到達目標】
1) ガイドラインに沿った患者中心の薬物療法を実践できる。2) 地域医療における健康増進の支援を実践できる。3) 健康増進のための問題発見と、解決のための他職種連携ができる。4) 薬剤の必要性の評価を実践できる。5) 薬物療法を実践するために注意点の抽出と実践の確認ができる。6) 他者と良好なコミュニケーションがとれる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1～45	薬局実習1	医療の担い手として求められる活動を適切な態度で実践するために、薬剤師の活躍する臨床現場で必要な心構えと薬学的管理の基本的な流れを把握する。	実習	予習：実習スケジュールに沿って行う 復習：実習スケジュールに沿って行う		NA00010101・NF00010204-07・NF00010314-15	朝倉 坂爪 阿部 齊藤 実務実習指導薬剤師、全教員
46～90	薬局実習2	医薬品の適正使用に必要な情報を提供できるようになるために、保険薬局における医薬品情報管理業務に関する基本的知識、技能、態度の修得	実習	予習：実習スケジュールに沿って行う 復習：実習スケジュールに沿って行う		NF00020102-04・NF00020207,09-11・NF00020309-13,18-19・NF00020409-15・NF00020509-12・NF00020608-11	朝倉 坂爪 阿部 齊藤 実務実習指導薬剤師、全教員
91～135	薬局実習3	保険薬局の調剤を適切に行うために、調剤、医薬品の適正な使用、リスクマネジメントに関連する基本的知識、技能、態度の修得	実習	予習：実習スケジュールに沿って行う 復習：実習スケジュールに沿って行う		NF00030105-07・NF00030202-06・NF00030307-09,12-13・NF00030408-13	朝倉 坂爪 阿部 齊藤 実務実習指導薬剤師、全教員
136～180	薬局実習4	地域社会での健康管理における薬局と薬剤師の役割を理解するために、薬局カウンターでの患者、顧客の接遇に関する基本的知識、技能、態度の修得	実習	予習：実習スケジュールに沿って行う 復習：実習スケジュールに沿って行う		NF00040203-04	朝倉 坂爪 阿部 齊藤 実務実習指導薬剤師、全教員
181～225	薬局実習5	地域に密着した薬剤師として活躍できるようになるために、在宅医療、地域医療、地域福祉、災害時医療、地域保健などに関する基本的知識、技能、態度の修得	実習	予習：実習スケジュールに沿って行う 復習：実習スケジュールに沿って行う		NF00050104-06・NF00050203-04・NF00050305-09・NF00050402-03	朝倉 坂爪 阿部 齊藤 実務実習指導薬剤師、全教員
226～270	病院実習1	医療の担い手として求められる活動を適切な態度で実践するために、薬剤師の活躍する臨床現場で必要な心構えと薬学的管理の基本的な流れを把握する。	実習	予習：実習スケジュールに沿って行う 復習：実習スケジュールに沿って行う		NA00010101・NF00010204-07・NF00010306-13	朝倉 坂爪 阿部 齊藤 実務実習指導薬剤師、全教員
271～315	病院実習2	処方せんに基づいた調剤業務を安全で適正に遂行するために、医薬品の供給と管理を含む基本的調剤業務を修得する。	実習	予習：実習スケジュールに沿って行う 復習：実習スケジュールに沿って行う		NF00020102-03・NF00020207-11・NF00020309-19・NF00020409-15・NF00020509-13・NF00020608-14	朝倉 坂爪 阿部 齊藤 実務実習指導薬剤師、全教員
316～360	病院実習3	医薬品の適正使用に必要な情報を提供できるようになるために、病院薬剤部門における医薬品情報管理（DI）業務に必要な基本的知識、技能、態度の修得	実習	予習：実習スケジュールに沿って行う 復習：実習スケジュールに沿って行う		NF00030105-07・NF00030202-06・NF00030307-14・NF00030404-13	朝倉 坂爪 阿部 齊藤 実務実習指導薬剤師、全教員
361～405	病院実習4	入院患者に有効性と安全性の高い薬物治療を提供するために、薬剤師病棟業務の基本的知識、技能、態度の修得（1）	実習	予習：実習スケジュールに沿って行う 復習：実習スケジュールに沿って行う		NF00040104-09	朝倉 坂爪 阿部 齊藤 実務実習指導薬剤師、全教員
406～450	病院実習5	入院患者に有効性と安全性の高い薬物治療を提供するために、薬剤師病棟業務の基本的知識、技能、態度の修得（2）	実習	予習：実習スケジュールに沿って行う 復習：実習スケジュールに沿って行う		NF00040104-09	朝倉 坂爪 阿部 齊藤 実務実習指導薬剤師、全教員

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト	薬学教育協議会 病院・薬局実務実習近畿地区調整機構監修	じほう
教科書	治療薬マニュアル	高久史麿ほか監修	医学書院
参考書	薬局実務実習指導の手引き	公益社団法人日本薬剤師会	薬事日報社
その他	臨床実務実習事前学習で用いた資料（プリント）テキストなど		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						50%	50%	
備考						課題レポート、提出物の内容を総合して評価。なお、提出時のルール（提出形態、方法、期限など）が守られない場合は減点する場合がある。	薬局および病院実習における概略評価を総合した評価。（注意）なお、欠席、遅刻、早退、実習時の態度などで減点することがある。	

【課題に対するフィードバック方法】

臨床実務実習連携システムを介して日誌に対するコメント等を行う。

【連絡先】

氏名	オフィシアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
朝倉 俊成	月～金 13～19時(事前にメールで連絡してください)	臨床薬学教育研究センター(C棟202)	asakura@nupals.ac.jp
齊藤 幹央	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟203）	saitom@nupals.ac.jp
坂爪 重明	月～金 13:00～17:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟205）	sakazume@nupals.ac.jp
阿部 学	月～金 16:00～19:00（事前に連絡をください）	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	abe@nupals.ac.jp
磯邊 浩和	月～金 11～17時(事前に連絡をお願いします)	臨床薬学教育研究センター（C棟204）	isobe@nupals.ac.jp
永野 大輔	月-金10:00-17:00(メールかチャットで事前に連絡をください。)	臨床薬学教育研究センター(C棟C204号室)	nagano@nupals.ac.jp
川原 浩一	月～金 13:00～17:00	薬品分析化学研究室 (F棟303a)	kkawa@nupals.ac.jp
久保田 隆廣	平日：12:10 - 13:10	生物薬理学（F棟1階・F103a）	tkubota@nupals.ac.jp
小室 晃彦	月～金 17:00～19:00 時間外もTeams チャットで随時可	生化学研究室（F棟504a）	akikomuro@nupals.ac.jp
酒巻 利行	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F棟503a）	sakamaki@nupals.ac.jp
富永 佳子	月～金、8:30～18:00（事前連絡が望ましい）	社会薬学研究室（F棟508）	y-tominaga@nupals.ac.jp
測野 裕之	月～金13:00～17:00 事前に予約すること	生薬学研究室	fuchino@nupals.ac.jp
星名 賢之助	月～木 15:00-18:00	薬品物理化学研究室（F棟302a）	hoshina@nupals.ac.jp
前田 武彦	月～金 要事前連絡	薬効薬理学研究室（F棟203a）	maeda@nupals.ac.jp
森山 雅人	月～木 13:00～17:00（講義・実習・出張日を除く）＊要事前連絡	病態生理学研究室（F棟F404a）	masato@nupals.ac.jp
岩田 武男	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可。	機能形態学研究室（F棟502c）	iwata@nupals.ac.jp
神田 循吉	月～金 9:00～17:00	臨床薬物治療学研究室（CB110）	kanda@nupals.ac.jp
富塚 江利子	月～金 9:00～18:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F503）	tomitsuka@nupals.ac.jp
福原 正博	月曜～金曜 12:00-13:00 時間外も随時可	微生物学研究室（F403）	fukuhara@nupals.ac.jp
宮本 昌彦	月～金 17～19時 メール、Teamsでの問合せは随時可	生化学研究室（F棟504c）	miyamoto@nupals.ac.jp
山口 利男	月～金 17～19時 メール等での問い合わせは随時可	微生物学研究室（F403）	yamaguchi@nupals.ac.jp
佐藤 浩二	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F棟503b）	ksato@nupals.ac.jp
竹野 孝慶	月～金 12:00～17:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	takeno@nupals.ac.jp
宮下 しずか	月～金 13:00～18:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	miyashita@nupals.ac.jp
元井 優太郎	平日 9:00～17:00（事前にメール等で連絡をください）	生物薬剤学研究室（F棟 103d）	motoi@nupals.ac.jp
長谷川 拓也	月～金 18:00～19:00	薬効薬理学研究室（F棟203c）	t-hasegawa@nupals.ac.jp
笹木 睦子	月～金9:00-18:00	薬学教育センター（F棟FB101）	mtanaka@nupals.ac.jp
関川 由美	月～金 10:00～18:00	薬学教育センター（F棟B101）	sekigawa@nupals.ac.jp

【その他】

合計 6 0 %以上で単位認定する。特例措置適応の場合は、遠隔による実習となることがある。
実務実習施設の連絡先、実習時の施設担当教員・臨床担当教員など、実務実習に関連した件は別途連絡する。その他学内の連絡先については臨床実務実習連携システムを参照。
実務実習開始前にホワイトコートセレモニーを開催する。

卒業研究 Graduation Research		授業担当教員		久保田 隆廣・朝倉 俊成・川原 浩一・小室 晃彦・齊藤 幹央・坂爪 重明・酒巻 利行・富永 佳子・瀧野 裕之・星名 賢之助・前田 武彦・森山 雅人・阿部 学・岩田 武男・神田 循吉・富塚 江利子・福原 正博・宮本 昌彦・山口 利男		
		補助担当教員		佐藤 浩二・竹野 孝慶・宮下 しずか・元井 優太郎・長谷川 拓也		
		区分		必修		
		年次・学期		4～6年次 通年	単位数	10単位
薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野			Cyber-Campus		
	A, G					

【授業概要】
研究する意識をもって研究活動に参画し、医療社会に貢献するために、研究課題に関連した論文を基に、その論文に記述されている内容、研究手法、結果とその考察について、科学的な根拠に基づいて自分の意見を交えながら、各研究室内での輪読会や報告会でスタッフ及び他の卒研究生と討論を行い、新たな問題点を克服する能力を身に付け、かつ各研究室で展開されている研究活動の一翼を担い、研究課題達成までの研究プロセスを体験することにより、研究活動に必要な基本的知識、技能、態度を習得する。

【到達目標】
生涯にわたって自ら学習する重要性を認識し、その意義について説明できる。生涯にわたって継続的に学習するために必要な情報を収集できる。基礎から臨床に至る研究の目的と役割について説明できる。研究には自立性と独創性が求められていることを知る。現象を客観的に捉える観察眼をもち、論理的に思考できる。新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。自らが実施する研究に係る法令、指針について概説できる。研究の実施、患者情報の取扱い等において配慮すべき事項について説明できる。正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む。研究課題に関する国内外の研究成果を調査し、読解、評価できる。課題達成のために解決すべき問題点を抽出し、研究計画を立案する。研究計画に沿って、意欲的に研究を実施できる。研究の各プロセスを適切に記録し、結果を考察する。研究成果の効果的なプレゼンテーションを行い、適切な質疑応答ができる。研究成果を報告書や論文としてまとめることができる。後輩等への適切な指導を実践する。薬剤師の使命に後輩等の育成が含まれることを認識し、ロールモデルとなるように努める。得られた情報を論理的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1	著作権セミナー・研究倫理について	著作権・研究倫理について理解する。	講義			NA00020401-03	教務委員会
2～150	卒業研究	所属研究室で与えられるテーマについての研究活動・論文作成・発表	実習	予習：各指導教員の指示に従う 復習：各指導教員の指示に従う		NA00050101-05・NA00050301-02・NA00050401-02・NG00010001-04・NG00020001-03・NG00030001-06	星名 久保田 岩田 富永 小室 宮本 前田 川原 酒巻 福原 山口 神田 朝倉 坂爪 阿部 齊藤 城田 元井 長谷川 佐藤 富塚 竹野 宮下

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	各指導教員より指示		

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合								100%
備考								研究活動時の態度評価、卒業論文の内容評価、発表の態度評価

【課題に対するフィードバック方法】
研究および論文作成時、随時指導する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
久保田 隆廣	平日：12:10 - 13:10	生物薬剤学（F棟1階・F103a）	tkubota@nupals.ac.jp
朝倉 俊成	月～金 13～19時(事前にメールで連絡してください)	臨床薬学教育研究センター(C棟202)	asakura@nupals.ac.jp
川原 浩一	月～金 13:00～17:00	薬品分析化学研究室 (F棟303a)	kkawa@nupals.ac.jp
小室 晃彦	月～金 17:00～19:00 時間外もTeams チャットで随時可	生化学研究室（F棟504a）	akikomuro@nupals.ac.jp
齊藤 幹央	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟203）	saitom@nupals.ac.jp
坂爪 重明	月～金 13:00～17:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟205）	sakazume@nupals.ac.jp
酒巻 利行	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F棟503a）	sakamaki@nupals.ac.jp
富永 佳子	月～金、8:30～18:00（事前連絡が望ましい）	社会薬学研究室（F棟508）	y-tominaga@nupals.ac.jp
渕野 裕之	月～金13:00～17:00 事前に予約すること	生薬学研究室	fuchino@nupals.ac.jp
星名 賢之助	月～木 15:00-18:00	薬品物理化学研究室（F棟302a）	hoshina@nupals.ac.jp
前田 武彦	月～金 要事前連絡	薬効薬理化学研究室（F棟203a）	maeda@nupals.ac.jp
森山 雅人	月～木 13:00～17:00（講義・実習・出張日を除く）＊要事前連絡	病態生理学研究室（F棟F404a）	masato@nupals.ac.jp
阿部 学	月～金 16:00～19:00（事前に連絡をください）	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	abe@nupals.ac.jp
岩田 武男	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可。	機能形態学研究室（F棟502c）	iwata@nupals.ac.jp
神田 循吉	月～金 9:00～17:00	臨床薬物治療学研究室（CB110）	kanda@nupals.ac.jp
富塚 江利子	月～金 9:00～18:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F503）	tomitsuka@nupals.ac.jp
福原 正博	月曜～金曜 12:00-13:00 時間外も随時可	微生物学研究室（F403）	fukuhara@nupals.ac.jp
宮本 昌彦	月～金 17～19時 メール、Teamsでの問合せは随時可	生化学研究室（F棟504c）	miyamoto@nupals.ac.jp
山口 利男	月～金 17～19時 メール等での問い合わせは随時可	微生物学研究室（F403）	yamaguchi@nupals.ac.jp
佐藤 浩二	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F棟503b）	ksato@nupals.ac.jp
竹野 孝慶	月～金 12:00～17:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	takeno@nupals.ac.jp
宮下 しずか	月～金 13:00～18:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	miyashita@nupals.ac.jp
元井 優太郎	平日 9:00～17:00（事前にメール等で連絡をください）	生物薬剤学研究室（F棟 103d）	motoi@nupals.ac.jp
長谷川 拓也	月～金 18:00～19:00	薬効薬理化学研究室（F棟203c）	t-hasegawa@nupals.ac.jp

【その他】

連絡先：各指導教員所属研究室、オフィスアワーは各指導教員別途指示。
成績は、卒業研究に取り組むすべてのプロセスについて総合的に評価する。

薬学総括演習II Summary of Pharmaceutical Sciences II	授業担当教員	飯村 菜穂子・朝倉 俊成・浅田 真一・安藤 昌幸・川原 浩一・久保田 隆廣・小室 晃彦・齊藤 幹央・坂爪 重明・酒巻 利行・高津 徳行・田辺 顕子・富永 佳子・浏野 裕之・星名 賢之助・本澤 忍・前田 武彦・森山 雅人・阿部 学・磯邊 浩和・岩田 武男・川村 暢幸・神田 循吉・富塚 江利子・永野 大輔・福原 正博・宮本 昌彦・山口 利男		
	補助担当教員	大貫 敏男・佐藤 浩二・竹野 孝慶・宮下 しずか・元井 優太郎・長谷川 拓也		
	区分	必修		
	年次・学期	6年次 後期	単位数	5単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野	Cyber-Campus
	E2(3)薬学専門科目の知識の応用	演習問題および解答解説、配布資料

【授業概要】
地域社会に貢献できる薬剤師となるために、基礎薬学および臨床薬学を通じて修得した『知識』を『知恵』に変え、臨床現場で起こりえる様々な問題を解決するために必要な基礎的知識を修得する。

【到達目標】
1) 薬学の基礎知識を応用し、症例にあった医薬品が選択できる。2) 薬学の基礎知識を応用し、医薬品の相互作用を列挙し、概説できる。3) 薬学の基礎知識を応用し、医薬品の生体に対する副作用を列挙し、概説できる。4) 薬学の基礎知識を応用し、疾病に対する医薬品の作用を物理・化学的に説明できる。5) 薬学の基礎知識を応用し、疾病に対する医薬品の作用を生物・食品衛生学的に説明できる。6) 事例に沿った法律・制度を説明できる。7) 病院の薬剤師業務全般が説明できる。8) 保険薬局の薬剤師業務全般が説明できる。9) 薬物治療に関わる情報を列挙し、概説できる。10) 患者の状態に即した対応を説明できる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1～75	高度な専門能力、知識を持ち、医療の質の向上に寄与できる薬剤師として社会に貢献するため、4年次までに修得した基礎薬学、衛生薬学、医療薬学及び社会薬学に関する知識と5年次における臨床実務実習で修得した知識・技能・態度領域の内容を統合した学習を行い、医療の担い手として必要とされる基礎薬学から臨床現場で求められる薬学の全領域についてを演習を繰り返し行うことで、総合的な実力を身につける。	6年次までに修得した薬学専門科目、基本事項、薬学と社会、基礎薬学（物理、化学、生物）、衛生薬学、医療薬学、臨床薬学の復習をし、薬剤師が身につけるべき知識について理解を深める。（到達目標番号NA0001～NF0005）	演習	予習：これまでに修得したSBOsについて復習する（90分） 復習：講義内容を整理するとともに、授業資料や関連する科目の教科書などを使って復習する。授業内で配布された演習問題なども解く。（90分）			薬学部各担当教員（別途資料を配布）

種別	書名	著者・编者	出版社
その他	プリント配布		
参考書	1～6年生まで使用した教科書		

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					100%			
備考					単位認定試験については、演習開始時までに通達する			

【課題に対するフィードバック方法】
試験問題の解説については、Cyber-NUPALS に掲示する。成績を学生に返却する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
飯村 菜穂子	火～木 16:00-18:00	薬学教育センター（F棟B101b）	iimura@nupals.ac.jp
朝倉 俊成	月～金 13～19時(事前にメールで連絡してください)	臨床薬学教育研究センター(C棟202)	asakura@nupals.ac.jp
浅田 真一	月曜日～金曜日 12:10～12:45 その他Teamsのchatで随時連絡可	薬学教育センター（F棟地下1階 FB101）	asada@nupals.ac.jp
安藤 昌幸	月～金 10:00～18:00 時間外も随時可	薬学教育センター（F棟B101）	ando@nupals.ac.jp
川原 浩一	月～金 13:00～17:00	薬品分析化学研究室 (F棟303a)	kkawa@nupals.ac.jp
久保田 隆廣	平日：12:10 - 13:10	生物薬剤学（F棟1階・F103a）	tkubota@nupals.ac.jp
小室 晃彦	月～金 17:00～19:00 時間外もTeams チャットで随時可	生化学研究室（F棟504a）	akikomuro@nupals.ac.jp
齊藤 幹央	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟203）	saitom@nupals.ac.jp
坂爪 重明	月～金 13:00～17:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟205）	sakazume@nupals.ac.jp
酒巻 利行	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F棟503a）	sakamaki@nupals.ac.jp
高津 徳行	月17:00～19:00 除：教授会開催日 火～金 18:30～19:30	薬学教育センター（F棟B101a）	takatsu@nupals.ac.jp
田辺 顕子	月曜～金曜 15:00-17:00	薬学教育センター（F棟FB101a）	a_tanabe@nupals.ac.jp
富永 佳子	月～金、8:30～18:00（事前連絡が望ましい）	社会薬学研究室（F棟508）	y-tominaga@nupals.ac.jp
渕野 裕之	月～金13:00～17:00 事前に予約すること	生薬学研究室	fuchino@nupals.ac.jp
星名 賢之助	月～木 15:00-18:00	薬品物理化学研究室（F棟302a）	hoshina@nupals.ac.jp
本澤 忍	月～金 17:00～19:00	薬学教育センター（F棟地下1階 FB101）	honzawa@nupals.ac.jp
前田 武彦	月～金 要事前連絡	薬効薬理学研究室（F棟203a）	maeda@nupals.ac.jp
森山 雅人	月～木 13:00～17:00（講義・実習・出張日を除く）＊要事前連絡	病態生理学研究室（F棟F404a）	masato@nupals.ac.jp
阿部 学	月～金 16:00～19:00（事前に連絡をください）	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	abe@nupals.ac.jp
磯邊 浩和	月～金 11～17時（事前に連絡をお願いします）	臨床薬学教育研究センター（C棟204）	isobe@nupals.ac.jp
岩田 武男	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可。	機能形態学研究室（F棟502c）	iwata@nupals.ac.jp
川村 暢幸	平日 10:00～16:00 Teams chatで事前連絡が確実	薬学教育センター F棟B101b	kawamura@nupals.ac.jp
神田 循吉	月～金 9:00～17:00	臨床薬物治療学研究室（CB110）	kanda@nupals.ac.jp
富塚 江利子	月～金 9:00～18:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F503）	tomitsuka@nupals.ac.jp
永野 大輔	月-金10:00-17:00(メールかチャットで事前に連絡をください。)	臨床薬学教育研究センター(C棟C204号室)	nagano@nupals.ac.jp
福原 正博	月曜～金曜 12:00-13:00 時間外も随時可	微生物学研究室（F403）	fukuhara@nupals.ac.jp
宮本 昌彦	月～金 17～19時 メール、Teamsでの問合せは随時可	生化学研究室（F棟504c）	miyamoto@nupals.ac.jp
山口 利男	月～金 17～19時 メール等での問い合わせは随時可	微生物学研究室（F403）	yamaguchi@nupals.ac.jp
大貫 敏男	月～金 10:40～17:30	薬学教育センター（F棟B101）	ohnuki@nupals.ac.jp
佐藤 浩二	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F棟503b）	ksato@nupals.ac.jp
竹野 孝慶	月～金 12:00～17:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	takeno@nupals.ac.jp
宮下 しずか	月～金 13:00～18:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	miyashita@nupals.ac.jp
元井 優太朗	平日 9:00～17:00（事前にメール等で連絡をください）	生物薬剤学研究室（F棟103d）	motoi@nupals.ac.jp
長谷川 拓也	月～金 18:00～19:00	薬効薬理学研究室（F棟203c）	t-hasegawa@nupals.ac.jp

【その他】

演習日程、単位認定基準については、演習開始時までに通達する

薬学英語Ⅲ English for Pharmacy Ⅲ		授業担当教員		武久 智一・山田 寿子			
		補助担当教員					
		区分		必修			
		年次・学期		6年次 前期	単位数	0.5単位	
薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野				Cyber-Campus		
	J						

【授業概要】

英語による情報収集能力を涵養するため、専門的な文章の読解に不可欠な知識及び技能の習得を目的とする。主として、科学・薬学に関する文章の精読を通して、文章理解に不可欠な知識及び能力（文法や語彙などの言語的知識、背景知識などの非言語的知識及びそれらの知識を基に推論する能力）の統合的運用能力の涵養を図る。また、抽象化による要点把握、文章構成や論理展開に関する高次の文章理解、文章内容の批判的検討などに対する訓練を積むことにより、批判的思考に立脚した読解技能の習得に努める。

【到達目標】

1）英和辞書を有効に活用できる。2）英文法参考書を有効に活用できる。3）文の叙述関係・修飾関係を説明できる。4）文が表す意味を説明できる。5）文章の主題および大意を説明できる。6）文章の構成および論理構造を説明できる。7）代名詞・同意表現の先行詞を指摘できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号 （2024～）	到達目標番号 （～2023）	担当教員
1~2	読解演習	精読 要約作成等	講義・演習	予習：特になし 復習：授業で扱った内容（360分）		NJ00030102,55D-61D・NJ00030551D-52D	武久 山田
3~4	読解演習	精読 要約作成等	講義・演習	予習：特になし 復習：授業で扱った内容（360分）		NJ00030102,55D-61D・NJ00030551D-52D	武久 山田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	なし（適宜プリントを配布する）		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					100%			
備考					授業内小テスト（2回）			

【課題に対するフィードバック方法】

授業内における口頭での指導及び提出課題の返却

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
武久 智一	授業終了後	非常勤講師室（A棟209）	
山田 寿子	授業終了後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

- 辞書類（英和等）・英文法参考書を必ず持参すること（出席の要件とする）
- 小テストは当該授業回の内容に関する理解を問う短答式試験を実施する。
- 質問は本科目で扱う教材に関する具体的な質問のみ受け付ける。
- 成績評価については、合計が60%以上で合格とする。

サプリメントと保健機能食品の科学 Dietary Supplements and Functional Food Science			授業担当教員		齊藤 幹央			
			補助担当教員					
			区分		選択			
			年次・学期		6年次 前期		単位数	1単位
薬学部 薬学科		薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野			Cyber-Campus			
A, E, F								
【授業概要】								
健康で質の高い生活を送るためには、バランスのとれた食生活が重要であることを前提に、個々の状態に応じたサプリメントの適切な使用方法や栄養の調整など、健康食品・サプリメントの専門的知識に対し薬剤師として社会貢献できる実践的内容を理解する。								
【実務経験】								
（齊藤）病院・薬局薬剤師として約16年間の臨床経験をもとに実践的な相談事例も交えて行う。								
【到達目標】								
健康食品・サプリメントの定義や分類と本来の摂取目的に関する正しい知識を修得する。また、サプリメント利用の現状を把握し、それぞれの使用目的に応じた製品の有効性と安全性について、科学的な根拠に基づき説明ができる。								
【授業計画】								
回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員	
1	サプリメントの基本概念、利用状況、科学的根拠	健康食品・サプリメント等の名称と定義、サプリメントの種類と摂取目的、保健機能食品制度など、日本と他学国における利用の現状と傾向、生活者の健康食品・サプリメントに関する調査結果など、サプリメントの科学的根拠の構築、日本（厚生労働省）における施策、サプリメントの有効性を示す具体例など	講義	予習：事前に教科書、プリントを熟読しておくこと（60分） 復習：内容の要点を理解し整理しておくこと（120分）		NA00010206・NE02090006・NF00050308	齊藤	
2	サプリメント各論：代表的なサプリメントの有効性評価、疾患・症状別のサプリメントの有効性評価	マルチビタミン・マルチミネラル、抗酸化サプリメント、抗炎症サプリメントなどについて、がん、肥満、高血圧、脂質異常症、糖尿病、脳神経系・認知症対策、うつ病対策、目の健康維持、下部尿路症状、ED（勃起障害）、皮膚疾患、アレルギー疾患対策のサプリメントについて	講義	予習：事前に教科書、プリントを熟読しておくこと（60分） 復習：内容の要点を理解し整理しておくこと（120分）		NA00010206・NE02090006・NF00050308	齊藤	
3	サプリメントの安全性と有害事象	健康食品・サプリメントによる有害作用（中毒性、アレルギー性）について	講義	予習：事前に教科書、プリントを熟読しておくこと（60分） 復習：内容の要点を理解し整理しておくこと（120分）		NA00010206・NE02090006・NF00050308	齊藤	
4	医薬品と食品における相互作用	医薬品と食品における相互作用の発現機序の基礎、さまざまな相互作用（各論）、相互作用に伴う有害事象例など	講義	予習：事前に教科書、プリントを熟読しておくこと（60分） 復習：内容の要点を理解し整理しておくこと		NA00010206・NE02090006-07	齊藤	
5	医薬品とサプリメントにおける相互作用	医薬品とサプリメントにおける相互作用の発現機序の基礎、さまざまな相互作用（各論）、相互作用に伴う有害事象例など	講義	予習：事前に教科書、プリントを熟読しておくこと（60分） 復習：内容の要点を理解し整理しておくこと		NA00010206・NE02090006-07	齊藤	
6	医薬品と特定保健機能食品における相互作用	医薬品と保健機能食品における相互作用の発現機序の基礎、さまざまな相互作用（各論）、相互作用に伴う有害事象例など	講義	予習：事前に教科書、プリントを熟読しておくこと（60分） 復習：内容の要点を理解し整理しておくこと		NA00010206・NE02090006-07	齊藤	
7	薬物との相互作用、運動・スポーツとの関連性	種々の健康食品・サプリメントと医薬品との相互作用、運動・スポーツ時の摂取における影響など	講義	予習：事前に教科書、プリントを熟読しておくこと（60分） 復習：内容の要点を理解し整理しておくこと（120分）		NA00010206・NE02090006-07	齊藤	
8	アンチドーピングとサプリメント、サプリメント利用における課題とさまざまな問題点	サプリメントにおけるアンチドーピングの問題点、製品の広告に関する法的規制、有害情報報告システム、科学的根拠の構築と提供などの課題、消費者に対する適切な情報伝達不足・医療関係者にとって信頼できる情報の不足などの問題など	講義	予習：事前に教科書、プリントを熟読しておくこと（60分） 復習：内容の要点を理解し整理しておくこと（120分）		NA00010206・NE02090006	齊藤	
【教科書・参考書】								
種別	書名			著者・編者			出版社	
その他	プリントなど							
参考書	ナチュラルメディシン・データベース 第7版			日本医師会／日本歯科医師会／日本薬剤師会監修			同文書院	
参考書	ハーブ&サプリメント Natural Standardによる有効性評価			キャサリン・E. ウルブリヒト他編集			産調出版	
【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						100%		
備考								
【課題に対するフィードバック方法】								
授業内容及び課題に関する疑問点等に対しては随時、解説対応いたします。								
【連絡先】								
氏名		オフィスアワー		研究室（部屋番号）		Eメールアドレス		
齊藤 幹央		月～金 17:00～19:00 時間外も随時可		臨床薬学教育研究センター（C棟203）		saitom@nupals.ac.jp		

介護保険制度と医療福祉サービス Long-term Care Insurance		授業担当教員		中村 健	
		補助担当教員			
		区分		選択	
		年次・学期		6年次 前期	単位数 1単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野		Cyber-Campus		
	A,B,F				

【授業概要】
我が国の介護保険制度をはじめとした社会保障や福祉サービスの概要を学びながら、サービス利用者を取り巻く課題や生存権の価値について検討する

【実務経験】
中村健：地方自治体職員として15年の福祉事務所実務経験により、福祉に関する幅広い知識を有しており、在職中の事例紹介を交えながら講義形式にて概説をする

- 【到達目標】
- 1．我が国の社会保障および福祉サービスの変遷・枠組み・内容について、を説明できる
 - 2．我が国の社会保障および福祉サービスの課題を検討できる
 - 3．我が国の社会保障および福祉サービスの実際と、利用者を取り巻く環境や課題を説明できる
 - 4．地域共生社会の実現が求められる背景と理念を説明できる
 - 5．生存権や命の普遍的価値について説明できる

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1	オリエンテーション	日本国憲法第25条から生存権について考える	講義	予習：厚生労働白書および図書館にある関連図書などを参考に現在の本国における社会福祉について調べておく。（90分） 復習：講義内で配布された資料などもう一度読んでおく。（90分）		NA00010101-02・NA00020101-03・NB00010005	中村
2	社会保障と福祉サービス	社会保障制度と福祉サービスの変遷 戦前の社会事業と救済政策 高度経済成長と日本型福祉の発展	講義	予習：厚生労働白書および図書館にある関連図書などを参考に授業内容に関する事項について調べておく。（90分） 復習：講義内で配布された資料などもう一度読んでおく。（90分）		NA00020104・NB00030101-02・NB00040204	中村
3	介護保険制度	介護保険制度の創設の背景と目的・理念 介護保険制度の仕組み 介護保険サービスの種類 介護保険制度と機関・専門職	講義	予習：厚生労働白書および図書館にある関連図書などを参考に授業内容に関する事項について調べておく。（90分） 復習：講義内で配布された資料などもう一度読んでおく。（90分）		NB00030105・NF00040201・NF00050101-02	中村
4	権利擁護	認知症 高齢者虐待 権利侵害と権利擁護 日常生活自立支援事業と成年後見制度	講義	予習：厚生労働白書および図書館にある関連図書などを参考に授業内容に関する事項について調べておく。（90分） 復習：講義内で配布された資料などもう一度整理し、課題レポート作成に備える。（90分）		NA00010107・NA00020301-03・NB00040204・NF00010202	中村
5	障害者の理解と支援	障害者の理解 障害者支援の変遷 障害者総合支援法 ノーマライゼーション	講義	予習：厚生労働白書および図書館にある関連図書などを参考に授業内容に関する事項について調べておく。（90分） 復習：講義内で配布された資料などもう一度読んでおく。（90分）		NA00010101・NA00020101-03	中村
6	低所得者に対する支援	生活保護制度 福祉事務所 自立支援プログラム 生活困窮者自立支援制度 低所得者対策	講義	予習：厚生労働白書および図書館にある関連図書などを参考に授業内容に関する事項について調べておく。（90分） 復習：講義内で配布された資料などもう一度読んでおく。（90分）		NA00010107・NB00030104・NB00040204	中村
7	制度のはざまと様々な生きづらさ	社会的孤立・生活困窮・社会的排除・制度のはざまなどの社会課題	講義	予習：厚生労働白書および図書館にある関連図書などを参考に授業内容に関する事項について調べておく。（90分） 復習：講義内で配布された資料などもう一度読んでおく。（90分）		NA00010107・NA00010208・NA00020301・NA00030201・NB00040204	中村
8	新たなセーフティネット 地域共生社会の実現に向けて	包括的支援体制 伴走型支援 多機関協働 参加支援 地域づくり	講義	予習：厚生労働白書および図書館にある関連図書などを参考に授業内容に関する事項について調べておく。（90分） 復習：講義内で配布された資料などもう一度読んでおく。（90分）		NA00010103・NA00010208・NA00040002,04-05・NB00040201,05・NF00040201・NF00050106	中村

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	プリント配布		
参考書	厚生労働白書		

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						100%		
備考								

【課題に対するフィードバック方法】
採点済みのレポート課題を希望者に返却する

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
中村 健	講義前後	非常勤講師控室（A棟209）	

【その他】
レポート課題は、8回目講義内で提示します。
2/3以上出席していることを条件に、課題レポートで評価し、60点以上を合格とします。

臨床心理学 Clinical Psychology	授業担当教員		坂本 悠馬	
	補助担当教員			
	区分		選択	
	年次・学期		6年次 前期	単位数 1単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野		Cyber-Campus	
	A			

【授業概要】

日常的な患者との関わりが求められ、チーム医療の一員としても重要な役割を果たす現代の薬剤師にとって、人の心や関係性について学ぶことは非常に重要である。単に人（患者）と関わるだけでなく、人（患者）を全体存在として捉えていく視点について本講義では考えを深めていきたい。ここでは、医学的な考え方である因果律的な捉え方ではなく、“共時的・自然的”な捉え方で人について考えていく。

【到達目標】

1) 臨床心理学に関する基本的な知識を学習し理解を深める。2) 習得したことがらを臨床実践にどのように応用し活かしていくことができるのか自ら考えることができる。3) 自分自身と向き合い、新たな自分の側面について考えることができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1	臨床心理学とは何か？ 一歴史的背景を踏まえてー	オリエンテーションとして授業全体の概要について説明する。 そして、臨床心理学とは何かについて、教科書1章および2章を参考に、歴史的背景を踏まえて解説していく。	講義	予習：教科書の第1章および2章を読む。（100分） 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。（120分）		NJ00020203・NJ00020652D	坂本
2	臨床心理学の様々な理論	臨床心理学には様々な理論がある。本講義では、主だった理論を解説し、その中で理論がある意味や人と人が関わる場で理論がどのような働きをするのかについて考える。	講義	予習：教科書の第3章を読む。（100分） 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。（120分）		NJ00020402	坂本
3	症状を持つことの意味	臨床心理学における心理的援助の対象となる精神疾患/障害について説明し、それらの疾患/障害を患者が「もたざるを得なかった」、その意味について考えていく。	講義	予習：教科書の第4章を読む。（100分） 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。（120分）		NJ00020402	坂本
4	発達障害/知的障害をもつことの意味	昨今の社会的な風潮として、発達障害/知的障害をすぐに疑ったり、決めつけたりする傾向があるように思われる。しかしながら、発達障害/知的障害は本当に"障害"なのだろうか。発達障害/知的障害をもつことの意味について考えていく。	講義	予習：教科書の第3章を読む。（100分） 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。（120分）		NJ00020501	坂本
5	心理療法とアセスメント	臨床心理学における心理的援助の方法として心理療法がある。そこでは、クライアントと治療者が1対1で面接をすることで、何故か人が癒されていく。無論、その過程には、壮絶な「死と再生」が生じているため、癒しといえど楽なものではない。人と人が真に関わる奥深さや不思議さ、わからなさについて触れ、「どのように人をみるか」について考えていく。	講義	予習：教科書の第6章と7章を読む。（100分） 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。（120分）		NJ00020303	坂本
6	発達論①	人は発達していくものである。発達は積み重ねであり、土台がしっかりと構築されている必要がある。ここでは、エリクソンの発達段階を参考に、乳児期～青年期に起こる様々な心理的現象について考えていく。	講義	予習：教科書の第8章を読む。（100分） 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。（120分）		NJ00020303・NJ00020604	坂本
7	発達論②	人は発達していくものであるが、必ず“死”が迫ってくる。大人となりどのように生きていくかについて、エリクソンの発達段階を参考に、成人期～老年期に生じる心理的課題などについて考えていく。	講義	予習：教科書の第9章を読む。（100分） 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。（120分）		NJ00020655D	坂本
8	まとめ	全体を振り返り、習得した知識や7回を通して身についたことがらをどのように実践の場で応用し活かしていけるかについて考える。	講義	予習：配布資料を読む。（100分） 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。（120分）		NJ00020652D	坂本

【教科書・参考書】

種別	書名		著者・编者	出版社
教科書	いちばんはじめに読む心理学の本 1 臨床心理学 全体的存在として人間を理解する		伊藤良子 編著	ミネルヴァ書房

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

試験問題の模範解答をCyber-NUPALSにアップする。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
坂本 悠馬	授業時間前後	非常勤講師室（A棟209）	

薬局の役割と経営 Part of Pharmacy in Medical Care and Society, and the Management	授業担当教員		阿部 学・磯邊 浩和・非常勤講師	
	補助担当教員		宮下 しずか	
	区分		選択	
	年次・学期		6年次 前期	単位数 1単位

薬学部 薬学科	薬学教育モデル・コアカリキュラム対応分野		Cyber-Campus	
	C18(1)、C18(3)		講義資料	

【授業概要】

薬局は、薬機法で「薬剤師が調剤の業務を行う場所」と定められており、薬剤師は薬剤師法などの関連法規により法的身分を受け、そして様々な義務が課せられている。また地域医療、医療経済学的な問題などを考慮し、薬局のあり方、運営などに関する内容を修得する。

【実務経験】

（阿部）病院に12年間、薬局に約3年間勤務した経験を持つ。実務経験をもとにした講義を行う。
（宮下）保険薬局の勤務経験をもとに、薬局の機能と役割について講義を行う。

【到達目標】

薬剤師職能の実践の場としての薬局の果すべき役割、その運営などを知識として修得し、説明できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	学修目標番号（2024～）	到達目標番号（～2023）	担当教員
1	薬局の基礎知識	薬局を開設するための知識と、求められる社会的な役割について	講義	予習：予め資料を熟読し、自身で現状を調査しておく。（90分） 復習：解説を確認し、理解を深める。（90分）	RB00030101-05	NB00040101-06・NB00040202-05,31A-32A,51D-54D	阿部
2	薬剤師の基本・薬局に求められている機能と役割	「薬剤師綱領」・「薬剤師倫理規定」と社会的役割	講義	予習：予め資料を熟読し、自身で現状を調査しておく。（120分） 復習：解説を確認し、理解を深める。（120分）		NA00010101-07・NA00010201-08・NB00010001-05・NB00020101-08・NB00020201-11,31A-32A・NB00040101-06,31A・NB00040201-05,31A-32A,51D-54D	阿部 宮下
3	医薬分業からみる歴史と薬剤師の使命	医薬分業史からみる薬剤師使命	講義	予習：予め資料を熟読し、自身で現状を調査しておく。（120分） 復習：解説を確認し、理解を深める。（120分）	RB00010301-03・RF00050101-06	NA00010101-07・NA00010201-08・NB00010001-05・NB00020101-08・NB00020201-11,31A-32A・NB00030201-04,31A-36A・NB00040101-06,31A・NB00040201-05,31A-32A,51D-54D	磯邊
4	薬局運営の基礎知識	学校薬剤師、地域医療との関連など、薬局での医薬品の流れと管理、経営	講義	予習：予め資料を熟読し、自身で現状を調査しておく。（120分） 復習：解説を確認し、理解を深める。（120分）	RB00030101-05・RB00040201-03	NA00010201-08・NA00010301-07,31A・NB00040101-06,31A・NB00040201-05,31A-32A,51D-54D	阿部 非常勤講師
5	薬局を取り巻く環境	法規、規制緩和など	講義	予習：予め資料を熟読し、自身で現状を調査しておく。（90分） 復習：解説を確認し、理解を深める。（90分）	RB00010201-04・RB00030101-05	NA00010101-07・NA00010201-08・NA00010301-07,31A・NB00020101-08・NB00020201-11,31A-32A・NB00030101-07,31A・NB00040101-06,31A・NB00040201-05,31A-32A,51D-54D	磯邊
6	医療用医薬品	医療用医薬品の分類、適正使用と、ジェネリック医薬品の有効利用	講義	予習：予め資料を熟読し、自身で現状を調査しておく。（90分） 復習：解説を確認し、理解を深める。（90分）	RB00030101-05・RB00040101-03・RD00010201-02・RD00010301-04・RD00022001-03	NA00010201-08・NB00020201-11,31A-32A・NE01030001-02・NE01040001-04・NE02090001-08	阿部
7	一般用医薬品とサプリメントなど、薬局製剤と漢方薬	一般用医薬品の分類と販売、サプリメントなどの取扱いなど、薬局製剤の仕組みと漢方製剤製造・販売	講義	予習：予め資料を熟読し、自身で現状を調査しておく。（120分） 復習：解説を確認し、理解を深める。（120分）	RB00040101-03・RB00050201-03・RD00010201-02・RD00022001-03・RD00050301-02	NB00020201-11,31A-32A・NE02090001-08・NE03010104・NF00050301-09,31A	阿部
8	ファーマシューティカルケアとリスクマネージメント	ファーマシューティカルケアの概念とリスクマネージメント構築について	講義	予習：予め資料を熟読し、自身で現状を調査しておく。（120分） 復習：解説を確認し、理解を深める。（120分）	RB00030101-05・RB00030201-02・RB00030301-03・RF00030301-03	NA00020101-04・NA00020201-03・NA00020301-04・NA00030101-09,31A-32A,51D-55D・NA00030201-02・NA00040001-05・NF00020501-13,31A-33A・NF00020601-14	磯邊

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	知りたいことがわかる 最新版イラスト図解 薬局のしくみ	井手口 直子	日本実業出版社
参考書	薬学と社会	乾 賢一監修	中山書店
参考書	配布資料		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						100%		
備考						複数のレポートにて評価します。		

【課題に対するフィードバック方法】

質問や疑問等に対して、随時フィードバックする。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
阿部 学	月～金 16:00～19:00（事前に連絡をください）	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	abe@nupals.ac.jp
磯邊 浩和	月～金 11～17時（事前に連絡をお願いします）	臨床薬学教育研究センター（C棟204）	isobe@nupals.ac.jp
宮下 しずか	月～金 13:00～18:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	miyashita@nupals.ac.jp

【その他】

レポートにて60%以上を単位認定とします。
事前に関連した内容を予習しておくこと。